



Nature式 大学受験英単語勉強法



推奨環境について

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

著作権について

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意いただき、ご利用下さい。このレポートの著作権は作成者に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤りや不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

免責事項について

当レポートの内容は、発行者の独自の経験・ノウハウをまとめたものであり、すべての人に同一の効果・影響を保証するものではありません。また、当レポートの内容に対していかなる行為をされ損害を受けることになりましても、発行者・配布者は一切の責任を負いません。

すべて読んだ方の自己責任の上、お取り扱いください。

目次 & その章で伝えたいこと(本音)

第1章 はじめに

P11~22

- ・「志望校に受かるのか？」という不安に負けた最低最悪の大学受験生活
- ・参考書120冊以上やった俺が断言する、量をこなすだけの馬鹿になるな
- ・ふりだしに戻れ！基本は大事だ、中学英語を完璧にしろ！
- ・学校や予備校の授業に頼るのは次元が低い、自分で勉強した方が早いぜ
- ・脳みその使い方を知らずに受験勉強してると、本当に地獄を見る
- ・センター40点→200点になったけど、これくらいなら誰でもいける
- ・1日15時間も勉強する必要があるのは、頭で考えてないからだよ
- ・センター試験の英語はマジで簡単、9割取るのは当たり前だと思え
- ・頭が悪いんじゃねえ、頭の使い方が悪いんだよ

第2章 たった3日で英単語を2000語覚え

センター英語を40点→131点に上げた時の 超高速英単語勉強法

P23~66

- ・英単語暗記に必要なすべてをここで話している、絶対に読むべし！
- ・大学受験はスピード命、所詮はスピード勝負なんだよ、バカ野郎
- ・絞れ、捨てる、計画は具体的に、数値を入れろ、神は細部に宿る
- ・黙って言われた通りやるだけで、英単語なんて余裕で覚えられる
- ・1つの単語、1つの意味、1秒で答え、1秒で間違い、1秒で正解しろ！
- ・例文まで覚える？初めからそれができたら苦労しねえよ
- ・2000問連続正解、これが唯一のゴールだ、妥協するな
- ・自分の今のレベルを確認しないで勉強する奴はマジでアホ
- ・短時間で終わる奴が神だ、全国トップのスピード目指せ！
- ・スピード、スピード、スピードだ！それで全てがうまくいく
- ・忘れるのは当たり前だ、忘れたらどうするかを考えろ！
- ・ぶっちゃけ、黙ってこれ真似すればマジで英単語余裕だから

第3章 私が実践して超役に立った

何度勉強しても全然覚えられない英単語を 効率的に覚えるための勉強法厳選3選 P67~103

- ・覚えられないのには理由がある！言葉の本質を見極めろ！
- ・頭の中のイメージを伝える、言葉はそのための道具に過ぎん
- ・脳みそにイメージをぶちかませ！そうすれば簡単に覚えられる
- ・Google画像検索はマジで神、使わないとかありえんぜ
- ・百聞は一見に如かず、見ればわかる、検索をしろ！
- ・語源勉強法はマジで楽しい、けど、初めのうちはほどほどに
- ・頭の良い奴は語源から単語を学ぶ、この真実を受験生の時知りたかった
- ・接頭辞と接尾辞覚えると、未知単語を類推する力がやべえことになる
- ・語源は漢字の部首に似ている、知れば知るほど有利だぜ
- ・語源は強者の学び方、ただし、ここまできれば英単語は無敵になれる
- ・単語帳の日本語訳は意外とクソだ、自分勝手に書き換えろ
- ・良い日本語訳にこだわれ！そうすれば一瞬で覚えられる
- ・imaginaryとimaginative、てめえらマジで紛らわしすぎだろ
- ・分別がある、とか日常生活で使わなすぎだろ、覚えられるか！
- ・この3つの勉強法、マジで神だから試してみることを推奨する
- ・あくまでも大学受験はスピード命の原則は忘れるな！

第4章 まとめ

P104~106

- ・英単語勉強法をサクッとまとめた、あとは勉強するだけだ
- ・依存するな！自主的に考え、自立心を持ち、自律的に行動しろ！
- ・最終的に勉強するのはあなた自身、健闘を祈る

第5章 あとがき

P107~131

- ・ここはあえて、何も書かないでおこう。最後まで楽しんでください。

このレポートの読み方

・ 1回目

まずは一度全てにバーっと目を通し、内容を理解してください。
参考書を使って受験勉強をする時と同じで、
はじめは大雑把に全体像を掴むことが重要です。

・ 2回目

2回目に読む時は、理解が不十分になる所をなくすよう、
理解優先で丁寧に読んでください。
今回はわかりやすさを優先して噛み砕いた文章で書いているので、
理解するのはそう難しくはないはずです。

・ 3回目

3回目は自分の今のレベルに合わせて、
自分の受験勉強にどのようにして活かすのか？を考えていきながら、
読んでください。

まだ英単語が完璧でない人は、超速英単語勉強法。
すでに英語が得意な人は後半の3つの勉強法を実践すると良いです。

・ 4回目

4回目読む場合は、実際にここに書かれた勉強法を実践した上で、
再度、確認の意味も込めて読んでみてください。
実践してから読むと、必ず新たな発見があります。

・ 5回目

5回目に読む場合は、自分が次の段階へと成長するために、
どの勉強法を実践すれば良いのか？を考えながら読んでください。
超速英単語勉強法の思考プロセスの部分を読み直すと、
受験勉強がうまくいかない原因はだいたい解決されます。

・ 6回目以降

6回目以降は各自、自由に読んで頂いて構いません。

このレポートに書かれていることを100%実践すれば、英単語以外の勉強をする際にも確実に役に立ちますので、ぜひ何度も何度も読むようにしましょう。

1つ忠告をしておくと、このレポートをただ読むだけで、実際の受験勉強に活かさなければ意味がないので、しっかりと活かす視点を持って読むようにしてください。

・ このレポートを読む際の目標

何度も何度も繰り返し読み直し、
書いてあることを100%完璧に理解し、実践する。

これを目標に読んでください。

受験勉強でも言えることですが、やることがコロコロ変わる人の成績は、なかなか上がりません。

しっかりと地に足つけて、基礎基本から勉強すれば、必ず成績は上がります。

知的好奇心に身を任せて、新しいものに手を出すと、知識は定着しませんので、しっかりと繰り返し読むようにしましょう。

このレポートに書いてあることは、英単語に限らず、大学受験のどの科目においても使えるものばかりですので、隅から隅まできちんと読み通し、自分のものにできるようにしてください。

・特定のページを読み直したい場合

各ページの右上に書かれている言葉は、
そのページで伝えたいことを一言で表した言葉です。

以下、どのページにそれらの言葉が書いてあるのかをまとめましたので、特定のページを読み直したい場合は、これらを参照してください。

第1章 はじめに P11~22

- P11 大学受験は結果が全て。受ければ勝ちだ。
- P12~15 不安に押しつぶされ、勉強に逃げた、最低最悪の受験生活
- P16 「自分は志望校に受かるのか？」という問いに対する対処法
- P17~18 大学受験で大事なものは目に見えない思考の部分
- P19~20 思考停止状態こそ諸悪の根源
- P21~22 センター英語はマジで簡単、9割とって当たり前。

第2章 たった3日で英単語を2000語覚え、 P23~66 センター英語を40点→131点に上げた時の超高速英単語勉強法

- P23 英単語学習の核を理解しよう
- P24~27 いきなり英単語を覚える前に、まずは自分の今のレベルを知ろう！
- P28 中学レベルの英語は完璧にすべし
- P29 高2の冬の時点でセンター英語40点、進学校の落ちこぼれ
- P30 センター英語40点を取った時の私の思考回路
- P31 英語の急所は英単語だ！
- P32 時間は有限！絞る視点こそ受験の要だ！
- P33~35 優先順位を決めて勉強しよう！
- P36 英単語の何を覚えるべきなのか？
- P37~38 具体例：発音・アクセントを覚える人の場合
- P39~40 受験勉強に英会話教材は必要ない
- P41 「今」のレベルを正確に見定めよう！中学英語は重要だ！
- P42 大学受験における基本レベルの英単語を極めるべし
- P43 「2000語覚える」と決めなければ勉強はうまくいかない

- P44 1つの単語、1つの意味だけ
P45 その勉強、どこまでやったら終わりなの？
P46 4択問題2000問連続正解という目標
P47 マジックナンバー7、困ったら7回繰り返せ！
P48 その勉強、いつまでに終わらせるの？
P49-50 予測するために1度試してデータを集めるべし
P51 勉強前に決めたことまとめ、大事なものは思考プロセス
P52-53 とにかく数値を目標の中に盛り込め！
P54 勉強中には何を意識すべき？
P55 スピードを意識しないのは受験生として失格
P56 スピードの差が合否の差に直結する
P57-58 スピード狂になれ！
P59 単純暗記の世界では、考えた時点ですでに負けである
P60 1秒で答え、1秒で間違え、1秒で正解するまで繰り返す
P61 没頭する感覚を掴みとれ！
P62 頭が悪いのではなく、頭の使い方が悪い
P63-64 スピードを意識すれば、全てがうまくいく
P65-66 英単語を覚えられないという壁にぶち当たった時の対処法

第3章 私が実践して超役に立った、 P67-103 何度勉強しても全然覚えられない英単語を 効率的に覚えるための勉強法厳選3選

- P67 覚えやすい英単語にヒントがある
P68 日本語で言われてわからないことは、英語で言われてもわからない
P69 現代文を勉強すると、英語の成績も伸びる
P70 コミュニケーションの核とはいったい何か？
P71-72 キリン=giraffeと簡単に覚えられる理由
P73-76 Googleの画像検索で言葉のイメージを検索できる時代
P77-78 Googleの画像検索の方法
P79-80 Googleの画像検索の欠点
P81 英単語を語源から学ぶ勉強法
P82-83 abnormalを語源から学んでみよう
P84 未知単語の類推、abuseってどういう意味？

- P85-86 語源は上級者向けの勉強法
- P87 日本語訳を変えて覚える英単語勉強法
- P88 assimilate=同化する？同化するって日本語はいつ使うんだ？
- P89 「assimilate=吸収する」の方が遥かに覚えやすい
- P90 「imaginary」と「imaginative」
- P91-93 「架空の」と「想像の」の違いって何？
- P94 覚えやすい日本語訳に言い換えよう！
- P95 英和辞典から良い日本語訳をリサーチすべし
- P96 決め打ちで、良い日本語訳を1つ覚えるべし
- P97-98 現代文の能力を高めて英単語を覚える勉強法
- P99 「sensible」と「sensitive」
- P100 分別のあるって日本語は、いつ使うのか？
- P101-103 良い日本語訳を選ぶ発想を持って！

第4章 まとめ P104~106

- P104-105 今回紹介した英単語勉強法のまとめ
- P106 勉強するのは、他でもないあなた自身

第5章 あとがき P107-131

- P107-108 受験勉強に100%活かすために繰り返し読もう
- P109-110 教えることが最高の勉強法
- P111 教える経験を積むと、人生が一変する
- P112 人に教えることで、教わり方を学べ
- P113 人に教える受験生は異次元なレベルで成長できる
- P114 教える側の人間になると、学びの質は跳ね上がる
- P115 LINEでグループを作って教え合え！
- P116-117 勉強グループを存分に使い倒そう！
- P118 大学受験は勉強法が全てだ！
- P119 メディアの紹介・大学受験無料メール講座
- P120 メディアの紹介・YouTube再生リスト
- P121 メディアの紹介・LINEアカウント「慶應三銃士」

P122 メディアの紹介・Twitterアカウント
P123 メディアの紹介・大学受験Nature公式ブログ
P124 メディアの紹介・まとめ
P125 最後のあいさつ
P126~131 PS 感想・お問い合わせはこちらから

・メディアリンクまとめ

レポートの最後で詳しい紹介している、様々なメディアのリンクまとめです。
大学受験に関してのより詳しい情報を発信しているので、
レポートを読んだ後は、ぜひこちらもお覧になってみてください。

なお、まだ本編を読んでいない人は、先に本編を読むことを強くオススメします。

「大学受験無料メール講座」

<http://wakki001.com/nature/cf/jees7b>

YouTube

「大学受験通信講座Nature一般公開動画まとめ」

<http://wakki001.com/nature/cf/5lxv>

LINEアカウント「慶應三銃士」

<http://wakki001.com/nature/cf/kp>

Twitterアカウント

<http://wakki001.com/nature/cf/hhdcni9>

「大学受験Nature公式ブログ」

<http://wakki001.com/nature/cf/065>

感想・お問い合わせ用メールアドレス

ko3jushi@wakki001.com

件名「英単語勉強法レポートを読んで」

それでは、本編の方をお楽しみください。

第1章 はじめに

2012年4月、
私は慶應義塾大学経済学部に進学した。

自宅浪人生活を終え、
同年代の人達から1年遅れての進学だった。

周りの人から見れば、
「1年間の努力が報われて良かったね」といった感じだろう。

それは間違いない。
大学受験は結果が全て。受ければ勝ちだ。

私は綺麗事を言うつもりはない。

今の日本はまだまだ学歴社会。
だから私は、せつかく大学受験をするのであれば、
東大、早稲田、慶應のどこかに受ければそれで良いと思った。

そして、結果として、慶應に受かったからそこに進学した。
それだけの話だ。

ただ、周りから見ると結果オーライな私の大学受験も、
蓋を開けてみれば、決して順風満帆な受験生活とは言えなかった。

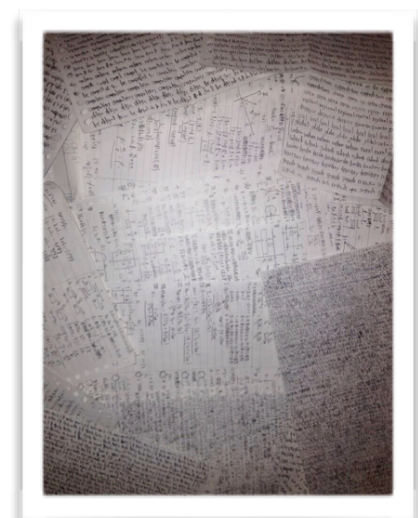
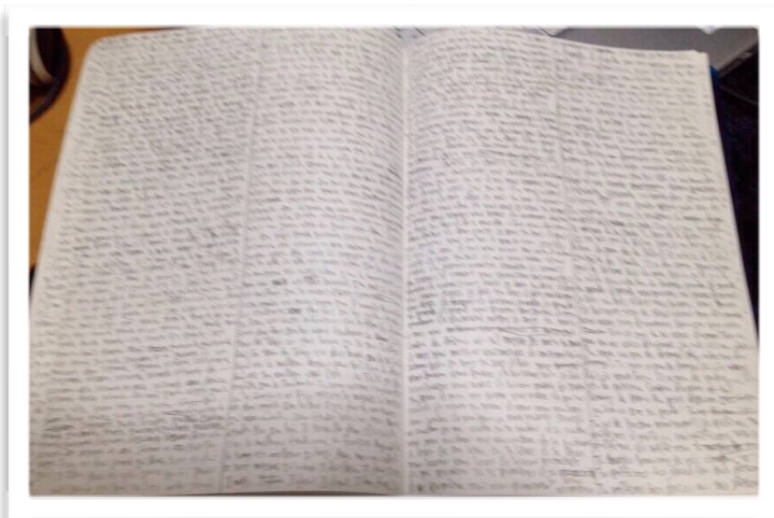
むしろそれとは正反対。

恥ずかしい話、私の大学受験は、結果だけは良かったものの、その過程は最低最悪の受験生活そのものだった。

私は受験勉強を通して、ありとあらゆる失敗をしてきた。

私がしてきた失敗の代表例がこれだ。

当時の私は、何でもかんでも書いて覚えようとしていたのだ。



こうやって書いて覚えることは一般的に良いとされているが、実はこの、書いて覚える勉強法こそ、最も効率が悪い勉強法だ。

ぶっちゃけた話が、これは最悪の勉強法と言える。

勉強＝ひたすら書けばいい、といった間違った常識こそ、受験勉強を苦しいものにさせている一番の原因なのだ。

それはなぜか？というところ、書いて覚える勉強法は、最も効率が悪く、時間が限られている受験勉強に最も適さない勉強法だからである。

本編でも触れるが、そもそもスペルを覚えるわけでもない限り、基本的に書いて覚える必要はない。

勉強法というのはそもそも、
目的によって、自分の頭で考え、使い分けるべきものである。

そしてそもそも、
私がこのような失敗を積み重ねてきた一番の原因は、
脳みその使い方を知らなかったことにある。

私は、脳みその使い方に関して無知であったがゆえに、
無駄な努力、無駄な苦勞、無駄な参考書を積み重ねてきたのだ。

違う言い方をすれば、
私は自分の頭で考えることをしなかった。

それゆえに、
1日15時間勉強したり、合計120冊以上の参考書を使ったりと、
ありえないレベルで非効率な受験勉強をするハメになったのだ。

受験生活を終えた、当時の机の上の様子がこれである。



この写真を見せると、
「こんなに勉強してたの！すげえ！」と勘違いする人がいるが、
それは違う。

これらの写真は反面教師の意味も込めて載せている。

私と同じように、
参考書が無駄に買って安心感を得ようとしたりしている受験生は、
特に気をつけたほうがいい。

脳みその使い方を知り、正しい勉強法で勉強すれば、
実際に必要な参考書はこの5分の1以下になる。

そもそも、私がたくさん勉強をしていたのは、
決して勉強するやる気がめっちゃくちゃあったからではない。

不安だったからだ。

私は、頭の中に出てきた、
「自分は志望校に受かるのか？」という問いに、
思考を奪われてしまった。

そして、その答えの出ない問いに、焦り、悩み、不安を感じ、
その状態が嫌だったからこそ、**勉強に逃げたのだ。**

他の何をしている時も、
「自分は志望校に受かるのか？」という問いが頭を駆け巡るが、
勉強をしている時は、その問いが出てこない。

だから、私は勉強に逃げたのだ。

その結果が先ほどの参考書タワーだ。

そもそも受験生が、

「自分が志望校に受かるのか？」という問い考えるのは、
絶対にやってはならないことの1つである。

なぜなら、その答えは、

大学受験が終わらない限り答えがわからない問いだからだ。

その問いについて考えていると、

たくさんの時間もエネルギーも無駄になってしまう。

受験生にとって呪いにも似た質問だろう。

といっても、

「考えるな！」と言われて考えないようにできるのなら、
そんなにラクな話はない。

それができないからこそ、

多くの受験生は困っているのだ。

そこで大事になってくるのが、脳の使い方を知ること、

そして、自分の頭で考えて、

正しい思考法で対処することである。

先ほどの問いかけを例に、具体的に説明していこう。

私と同じように、
先ほどの問いかけを考えてしまう受験生は、
次のように、問いの投げかけ方を変えるといい。

「自分は志望校に受かるのか？」ではなく、
「自分はどうすれば志望校に受かるのか？」と問いかけるのだ。

このように問いかけると、
無駄な不安に悩まされることもなくなる。

なぜなら、この問いには生産的な答えがあるからだ。

「自分はどうすれば志望校に受かるのか？」と問いかければ、

- ・ 英語の基礎である英単語を覚える
- ・ 苦手科目の数学の勉強をする
- ・ 毎日早起きをして午前中に勉強をする

など、今の自分の現状に合わせた答えが返ってくる。

これなら、実際の行動にも繋がるから、
無駄に不安に思う気持ちもなくなるわけだ。

そもそも人間の脳みそというのは、
問いを投げかけられるとその答えを探したくなるようにできている。

情報に穴があったら、埋めたくなる習性があるのだ。

クロスワードパズルを見たら、
なんとなく解いてみたくなるのと同じ。

私たちの脳みそは問いを投げかけられると、
その不足する答えの部分を、
どうしても探したくなるようにできているのだ。

そして、今の一連の流れが、脳みその使い方を知り、
思考法を身につけるとできるようになることだ。

大学受験で大事なのは、
こういった目に見えない思考の部分だ。

しかし、残念ながら、学校や塾、予備校では、
こういったことを教わることはできない。

なぜなら、そもそもの話、ほとんどの人が、
勉強法や思考法について何も知らないからだ。

正確に言うと、脳みその中では理解していたとしても、
それを言語化して伝えることができない。

伝えることができないからこそ、
当然、受験生が教わることもできないのだ。

だからこそ、学校や予備校で教わるのは、
「どうやって勉強するのか？」ではなく、
「何を勉強するのか？」というレベルの話に終始してしまう。

ぶっちゃけ「何を」の部分教えるのは、
教科書を読みさえすれば、誰でもできることである。

が、それだけを教えるのは、
正直に言って、次元が低い。

なぜなら、そんなものは、
受験生それぞれが自分で参考書を読めばわかることだからだ。

大学受験において大事なものは、
「何を勉強するか？」ではなく、
「どう勉強するのか？」を知ることである。

そして、私が今回教えたいのは、
そういった目に見えない思考の部分だ。

正直な話、これさえマスターできれば、
大学受験なんて余裕で乗り越えることができる。

もちろん、今は、
私が何を言ってるかあまり理解できないかもしれない。

初めのうちはそれでも構わない。

ただ、このレポートは、
何度も何度も繰り返し読んでいただきたい。

読んでは実践し、読んでは実践しを繰り返していれば、
必ず思考力は上がっていくだろう。

もちろん、
私も初めからこの思考力があつたわけではない。

先ほどの写真を見ていただければ、
昔の私がどれほど考えずに行動していたかがよくわかるだろう。

つまり、この思考力というのは、生まれつきのものではなく、
学ぶ意志のある人なら誰でも身につけられるものなのだ。

そもそも、受験生だった当時の私は、先ほども話したように、
不安に脳みそが支配され「**思考停止状態**」に陥っていた。

何すればいいんだろう。
どうすればいいのかな。

そういった不安に脳みそを支配され、
何も考えることができなくなっていた。

私ほどではないにしろ、
同じような状態になってる受験生もたくさんいると思う。

不安に襲われると、
誰しも必ず程度の差はあれど、思考停止状態になるものだ。

そもそも大学受験を不安に思うということは、
それほど大学受験を本気で取り組もうとしているということ。

それに関しては、良いも悪いもない。

そうになってしまうのは仕方がない。

大事なのは、その思考停止状態になった後、
どのように対処していくかだ。

思考停止状態を別の言葉で言い換えると、
「何をすればいいんだろう」「どうすればいいんだろう」
と、迷いが生じてしまった時のことでもある。

今回のレポートで話しているのは、
受験勉強をしていて、迷ってしまった時に、
「どう考えればいいのか？」という1つの解決策でもある。

ぜひともこのレポートを読んで、思考力を鍛えていってほしい。

前置きが長くなってきたので、
そろそろレポートの本題について話していこう。

センター英語はマジで簡単、9割とって当たり前。

このレポートは、
大学受験における最重要科目、英語。

その英語の基本中の基本である、
英単語の勉強法に関してまとめたレポートだ。

そもそも英語という科目は、
しっかりと基礎から身につければ誰でも高得点を狙える科目。

そして、一度その実力を身につければ、
あまり得点力も落ちることはない。

大学受験をするのであれば、
真っ先に得意にしておきたい科目だ。

私自身、初めは、
センター試験の英語(筆記)で40点しか取れなかったが、
ある程度勉強したらセンターで9割を切らなくなった。

マーク模試で200点満点を取り全国1位を取ることもできた。

| 受験型 | | 2型 | | 全国 | | | | 現卒内 | | | | 校内 | | | |
|-------|-----------------|------|-----------|-------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----|-----|-----------|------------|--|
| 教科・科目 | あなたの 得点 / 配点 | 偏差値 | 学力 レベル | 平均点 | 順位 (位) | 人数 (人中) | 現役生 平均点 | 高卒生 平均点 | 高卒 (位) | 人数 (人中) | 偏差値 | 平均点 | 順位 (位) | 人数 (人中) | |
| 英語 | 200 / 200 | 67.2 | S | 131.6 | 1 | 268246 | 128.1 | 151.1 | 1 | 40424 | — | — | — | — | |

| 教科・科目 | あなたの 得点 / 配点 | 偏差値 | 学力 レベル | 平均点 | 順位 (位) | 人数 (人中) | 現役生 平均点 |
|-------|-----------------|------|-----------|-------|-----------|------------|------------|
| 英語 | 200 / 200 | 67.2 | S | 131.6 | 1 | 268246 | 128.1 |

しかも、この当時の私は、
まだ勉強法や思考法についてわかっていなかった。

つまり、思考停止状態で、
がむしゃらに勉強していた当時の私でもできたことだ。

正直な話、
しっかりとした思考力がある人が正しい勉強法で勉強すれば、
簡単にセンター9割、記述模試で偏差値70程度なら、
余裕で達成できるだろう。

センター試験の英語はマジで簡単だ。
9割取れないと話にならない。

今回話すのは、センター試験英語で9割を達成するための、
基礎基本となる英単語の勉強法だ。

基本だからと言って侮らずに、
ぜひとも集中して読んでいただき、
各自の受験勉強に生かしていただきたい。

第2章

たった3日で英単語を2000語覚え センター英語を40点→131点に上げた時の 超高速英単語勉強法

まずはじめに、
実際に私が3日でセンター英語を40点から131点に上げた時の、
超高速英単語勉強法についてのお話しをさせていただきます。

なぜ初めにこの話をするのか？というと、
この勉強法こそが英単語学習の核であり、
絶対に欠かせない勉強法だからだ。

これさえ押さえておけば、
今どんなに英単語が覚えられていない人でも、
最高のスタートダッシュが切れる。

他の何を忘れても、
これさえ覚えていればどうにかなると言っても過言ではない。

また、いきなり抽象的な話から入るよりも、
具体的な話から入った方が理解が深まるため、
今回はこの話からさせていただきますことにした。

といっても、これから受験勉強をする上での指針となるような、
とても重要なお話をさせていただきますので、
心して聞いていただきたい。

いきなり英単語を覚える前に、まずは自分の今のレベルを知ろう！

しかし、1つ本題に入っていく前に話しておくことがある。

それは何か？というと、

当時の私が、どれくらいの学力レベルだったのか？という、
今回の勉強法を実践する上での前提条件のお話だ。

私が3日で英単語を2000語覚えたといっても、
それは当時の私ができるという話であって、
すぐさま真似できるものとも限らない。

そして、当時の私のレベルを知っていただいた方が、
自分が実際に受験勉強をする際にも、
1つの基準として役に立つと思う。

ということで、

まずは私が受験勉強を始めるまでの過去の話に、
お付き合いいただきたい。

順番に話していこう。

まず、私が英語の勉強を始めたのは、中学生になってからだ。
それまでは全く英語の勉強をしていなかった。

つまり、

帰国子女でもなければ、英会話教室に通っていたわけでもない。
無論、海外旅行にも行ったことがなかった。

いきなり英単語を覚える前に、まずは自分の今のレベルを知ろう！

ほとんどの日本人と同じで、
中学生の時から英語を学び始めた普通の中学生だった。

ちなみに、学校も普通の公立校である。

中1の4月、アルファベットから覚え始め、
簡単な英文を学び始めたところから、私の英語学習は始まる。

ここで1つ、特徴としてあげられるのが、
中学生の時の私は、ウルトラクソ真面目だったということだ。

そして、当時の私は英語の勉強にハマっていた。

朝の読書タイムと呼ばれる時間の間、
ずっと、英単語を書いて書いて書きまくっていた。

というよりも、この当時は、
他の科目も含めて、勉強が楽しくて楽しくて仕方がなかったのだ。

中学時代は、勉強しまくってたこともあり、
どの科目も得意だった。

そして、そのおかげもあって、中学生の時は、
学年テストで1位～5位までの間しかとったことはない。

中でも英語は、かなりの得意科目だった。
おそらく90点以下はとったことがない。

いきなり英単語を覚える前に、まずは自分の今のレベルを知ろう！

100点を取らなければクソだと思っていたレベルで、
めちやくちやに英語は得意だった。

そして、そのおかげもあって、
高校は偏差値73～75の県内でトップの公立校に入学できた。

ここまでは順風満帆。
そのまま行けば、大学受験も余裕なはずだった。

しかし、私はここで道を踏み外す。

というのも、私は、高校に入ってから、
全く勉強をしなくなったのだ。

高校時代は、
本当に真面目に勉強した記憶がない。

いや、勉強はしたかもしれないが、
頭には全く内容が入ってこなかった。

私は、県内トップの高校に入れば、
自動的に良い大学に入れると思いついでいたのだ。

そして、あろうことにも、
そんな状態が高2の冬まで続く。

いきなり英単語を覚える前に、まずは自分の今のレベルを知ろう！

つまり、私は高校2年生の冬になるまで、
一切の受験勉強をしていなかったのだ。

これが、私の当時の状況、
つまり、私の前提条件である。

ここで知っていただきたいのは、皆さんが実際に勉強をする時も、
必ず自分の前提条件を踏まえて勉強すべきである、ということだ。

多くの人は、ここを見落としがちである。

受験勉強をする時、
まず知るべきは、自分の今のレベルだ。

英語を例に話すのであれば、
「自分はどの段階から英語ができなくなったのか？」
これを確認する必要がある。

アルファベットは覚えているのか？
中学レベルの基本の英単語は完璧に覚えているのか？

そうやって、
自分がつまずいた箇所を明らかにすることが重要だ。

ここで大事なのが、
基本を完璧と言えるレベルまでやったかどうかだ。

ここでいう基本というのは、
中学レベルの英語である。

そもそも、中学レベルの英語ができていない人が、
大学受験レベルの英語の勉強をしても効率が悪い。

それはなぜか？というと、
説明が省かれているそもそもの部分が理解できないからだ。

「中学レベルの英語なら完璧」

そう言い切れない人は、
中学レベルの英語からやり直そう。

仮に中学レベルの英語ができていれば、
やり直しにも大した時間はかからない。

石橋を叩いて渡るレベルの慎重さで、
しっかりと基本は確認するべきだ。

話を戻そう。

高2の冬、受験を意識し始めた当時の私は、
中学レベルの英語は完璧だが、
高校レベルの英語はチンプンカンプンの状況だった。

それもそのはずだ。

高校入試の時、いくら成績が良かったとしても、
約2年も勉強していなければ、周りのレベルが上がっている以上、
実力は絶対に落ちている。

そして、当時の私はちょっとしたキッカケで、
センター試験の英語の過去問を解くことになった。

そのときのことは今でも覚えているが、
当時の私は、全然勉強していなかったにもかかわらず、
なぜか自信満々だった。

中学生時代に成績が良かったから、
勉強しなくても大丈夫だろうとタカをくくっていたのだ。

人間、調子に乗るとろくなことがない。

そのときのセンター英語の点数が、
200点満点中40点という大惨事である。

おそらくこれは、
チンパンジーが適当にマークしても取れる点数だろう。

偏差値に換算すると、**よくて偏差値30**くらい。

私の無駄に高いプライドが、
粉々に砕け散った瞬間だった。

つまり、当時の私は、
相当に英語のレベルが落ちていたのだ。

これが、私が受験勉強を始める上での前提条件、
当時の私のレベルである。

今からお話しするのは、そんな状態だった私が、
たった3日で2000語の英単語を覚え、
センター英語を40点から131点に上げた勉強法である。

当時の私の**思考回路**を再現しながら、順番に話していこう。

まず、センター英語で40点を取った私は、
こう考えた。

今は悔やんでも仕方がない。
それより、サッサと勉強することが大切だ。

でも、何から手をつければいいんだ？

英語で大事って言われてることはたくさんある。

英単語、英熟語、英文法、英文解釈、リスニング、
長文読解、英作文、速読、精読、音読、ディクテーション。

全部やっていたらきりが無い。

まずは目標をセンター英語に絞ろう。

自分に足りないもので、
かつ必要不可欠なものは何だろうか。

・・・おそらく、それは英単語だろう。

英単語がわからなければ、
どうにもならない。

逆に英単語さえある程度わかってしまえば、
文法が多少わからなくても意味は類推できる。

英熟語も大事だが、
言ってしまうと、英熟語だって英単語の組み合わせでできている。

他にも同じだ。

英語の文章を細かく分解していくと、
最後に残るのは英単語だ。

だったら、
まずは英単語から仕上げよう。

当時の私の思考プロセスは、
だいたいこんな感じだった。

これは間違っていない。

英語で絶対外せないポイント。
英語の急所は英単語だ。

ここで大事なのが、
何を勉強するのか、絞るという視点だ。

多くの受験生にはこの視点が足りていない。

私自身も、この絞る視点を持っていなかったからこそ、
大学受験で大いに苦しんでしまった。

この絞るという視点が必要な理由には、
受験生が絶対に忘れてはならない、ある前提条件が存在する。

それは何か？というと、
「**時間は有限である**」という前提条件だ。

これ、当たり前だけど本当に大事。

私たちの時間は、
誰しものが1日24時間と限られている。

だからこそ、受験勉強をするときは、
効率を考えなければならない。

そして、効率を考えるためには、
何をやるのかを決め、そして何をやらないのかを決める、
これが大事になってくる。

これらを決めることで、
やっと効率的な勉強がスタートできるということだ。

多くの人は、
何をやるかばかりに目がいってしまい、
何をやらないのかを決められない。

先ほどの英語の例でいうと、
英単語も英熟語も英文法も英文解釈も勉強しようとして、
結果として、どれも中途半端になってしまうということだ。

それではいけない。

受験勉強をする上では、
しっかりと優先順位を決めて勉強することが大事になってくる。

先ほどの私のように、
英単語に絞って勉強することが大事なんだ。

しかし、本当のところをいうと、まだまだ絞りが足りない。

実際に勉強するのであれば、
もっともっとやるべきことを絞っていく必要がある。

いいだろうか？

英単語を勉強すると言っても、
その内容には千差万別、様々な違いがある。

英単語の意味を1つだけ覚える人。
英単語の意味を複数覚える人。
英単語のスペルを覚える人。
英単語の発音を覚える人。
英単語のアクセントを覚える人。
英単語の語源を覚える人。
英単語の類義語を覚える人。
英単語の派生語を覚える人。
英単語の例文を覚える人。

ひとくちに英単語の勉強と言っても
人それぞれ、どの程度までやっているのか、様々である。

さらにこれに加えて、

どれくらいの数の英単語を覚えるのか？
1000個か？2000個か？3000個か？4000個か？

どれくらいの期間で覚えるのか？
1日か？1週間か？1ヶ月か？1年か？

などといった、細かい条件設定の違いもある。

ここまで考え抜いて初めて、
しっかりとした勉強法ということが出来る。

ここまで詳細を決めておかないと、
脳みそが困ってしまうのだ。

英単語を覚えるのはいいけど、
どこに集中すればいいんだろう？

意味を覚えればいいのか？
それとも、スペルも覚えるのかな？

んー、もうどうでもいいや。

となってしまうわけだ。

これが最初に言った思考停止状態である。

そうならないためにも、
何を覚えるのかを決め、覚える単語数を決め、
覚える期間を決め、覚える勉強法を明確にする必要があるわけだ。

先ほども言ったが、英単語を勉強する際も、
このように、しっかりと何をするのかを絞っておくことが重要だ。

そうでないと、志望校合格のために、
無駄な勉強をやりかねない。

無駄な勉強は、時間の無駄につながり、
時間の無駄は、不合格につながっていく。

だからこそ、無駄な勉強をやらないためにも、
やるべきことと、やらないことを、しっかりと明確にしておこう。

それで、だ。

これから、

「当時の私は一体どのように英単語を勉強したのか？」

その詳しい勉強法について話す。

これはあくまでも私の例だが、この具体例を元に、自分の今のレベルと英単語を覚える目的に合わせて、勉強法を調整すれば、確実に英単語を覚えられるだろう。

それでは、

その英単語勉強法について、詳しく話していく。

ということで、先ほどの続きから。

まずは英単語を仕上げよう。

そう決めたあと、

私は何を覚えるべきかを考えた。

意味は絶対に覚えるべきだろう。

スペルも覚えるべきか？発音はどうする？派生語は？

例文は今の自分に必要なのか？

そうやって、何を覚えるべきか？を考えた。

ここで大事ななのは、ここでの答えは今の自分のレベル、そして英単語を覚える目的によって変わるということだ。

例えば、英単語の意味は覚えているけども、
センター英語の第1問、発音・アクセント問題で、
なかなか点が取れない人がいたとしよう。

そうすると、この人の今のレベルは、
英単語の意味はわかるけれど、発音・アクセントは、
まだしっかりと覚えていないレベルだとわかる。

そして、この人の英単語を覚える目的は、
発音・アクセント問題でしっかりと点を取れるようにすることだ、
と言えるだろう。

と、なると、
この人が英単語を勉強する時は、

今の自分の英単語レベルを、
発音・アクセントも覚えてるレベルに上げるためには、
一体どうすればいいのか？

その勉強法を調べ、考え、実践することが大事になってくる。

まずは、今の自分のレベルと、
勉強する目的を明確にすることが大事だということだ。

そして、実際にこの人が勉強をする時にも、
しっかりと絞ることが大事になってくるわけだ。

絞るを別の側面からとらえなおすと、
捨てるということになる。

例えば、AとBという2つの選択肢があった時に、
Aを選んだ人は、Bという選択肢を捨てていると言えるだろう。

つまり、Bを選ばないと決めれば、
自動的にAを選ぶことに決まっていくということだ。

これを先ほどの例に当てはめると、
もしセンター第1問の発音・アクセント問題で点を取りたいなら、
センター第1問の頻出単語だけを勉強し、
それ以外の英単語は全部無視して、捨てることになる。

つまり、先ほどの人であれば、
センター第1問の発音・アクセント問題に特化した参考書を買って、
それだけに絞って勉強すれば良いということになるわけだ。

発音・アクセントを覚えるからといって、
すべての英単語の発音・アクセントは覚えなくていいからね。

それはなぜか？というと、今の目的は、
センター第1問の発音・アクセント問題を、
解けるようにすることだからだ。

これが勉強すべき内容を絞るということだ。

何度も言っているが、
こうやって**絞る**ことが重要なんだ。

すると、ここでたまに、
次のように考える人もいる。

せつかく、発音・アクセントを覚えるのなら、
英会話で使えそうなフレーズも覚えておこうかな。
将来きっと役に立つだろうし。

そう考えて、
英会話の教材を使って勉強しようとする人がいる。

ハッキリ言っておこう。

これこそが無駄だ。
絶対にやってはならない。

それはなぜか？というと、
英会話教材を使って勉強することは、
志望校合格のために必要不可欠なことではないからだ。

受験生は、
この大前提を忘れてはならない。

受験生の一番の目的は、
「志望校に合格すること」だ。

それ以外のすべてのことは後回し。

今は志望校に合格するためにできることだけに集中して、
自分の持てるすべてを注ぎ込むべきなんだ。

だから、さっきの人でいうと、
目的がセンター第1問の発音・アクセント問題で点を取るのなら、
それ以外はすべて無視、すべて捨てるべきである。

そして、ここでの勉強法も同じだ。

発音・アクセントを覚えるのであれば、
わざわざスペルなどを書いて覚える必要はない。
音読して、発音やアクセントで大きめに叫べば一瞬で覚えるだろう。

そうやって、
何をし、何をせず、どのように勉強し、どんな勉強はしないのか。

これを決めて実践していくのが、
効率の良い受験勉強の進め方だ。

話を戻そう。

よって、まず当時の私は、
「今の自分のレベル」をはじめに確認した。

「今」のレベルを正確に見定めよう！中学英語は重要だ！

先ほども確認したように、
私は中学時代に真面目に勉強していたので、
高校に入学するまでの英語は完璧にマスターしたと言えるだろう。

しかし、それはあくまで入学当初の話だ。

今のレベルを正確に見極めるのであれば、
中学レベルの英語にも穴があると考えるのが妥当だろう。

中学レベルの英語が完璧なら、
センター英語で40点なんて点数は取るがはずがない。

覚えてるか怪しい場合は、もう一度学びなおすのが賢明だ。

それを踏まえた上で、大学受験でも基本となる英単語を覚えれば、
一通りの基本英単語は覚えられたと置いていいだろう。

私はそのように考えて、
大学受験における難単語といわれるものは、
まだ勉強しないことにした。

今の私が求めているのは、
大学受験における基本と呼ばれるレベルの英単語だったからだ。

そして、次に問題になってくるのが、
「英単語を覚える目的」である。

私は何のために英単語を覚えるのか？
そしてなぜその目的にするのか？

ここを明確にしておかないと、
勉強をしている途中でぶれてしまう。

といっても、
これは先ほどさらっと言った。

しかし、ここはかなり大事なので、
もう一度話しておこう。

当時の私に必要なだったのは、
「大学受験における基本レベルの英単語」だ。

基本レベルの英単語を覚えなかったことには、
英熟語も英文法も英文解釈の勉強もままならない。

だから、
まずは基本レベルの英単語を覚えることにした。

ここを自分でしっかりと理解しておかないと、
周りの友達や先生と呼ばれる人に惑わされてしまう。

「例文も読んだほうがいいよ」とか、
「難単語も覚えたほうがいいよ」とか、
そういう言葉に惑わされてしまうわけだ。

何度も言うが、やることを増やすのではなく減らすこと、
やるべきことではなく、やらないことを決め、絞ることが大事だ。

英単語を覚える際も、
絶対にここをキッチリと断定しておくべきである。

そして、その後に決めたのが、具体的な目標設定だ。

当時の私はどう考えたのかというと、
「勉強法」からその目標値を決めた。

当時の私は、パソコンのソフトで、
まあ、今でいうアプリのようなもので、
英単語を勉強できる環境にあった。

簡単に説明すると、画面に「focus」と出たら、
下に4つの日本語訳が書かれた選択肢が出て、
そこから答えを選ぶというものだ。

画面に英単語が出るときに、
その英単語の読み方がネイティブ発音で発音される。

ここでは理解を簡単にするために、
英単語アプリを使ったということにしよう。

ようするに私は、
そのアプリを使って英単語の勉強をした。

そして気になる目標だが、
そのアプリでは基本英単語2000個がまとめてあったため、
それをそのまま指標にした。

つまり、覚える単語数としては、
2000語を覚えることにしたのだ。

大事なのは迷ってないで、サッサと決めることだ。
特に「数値」を目標設定の中に入れることは極めて重要。

「大学受験レベルの基本英単語を覚える」という目標では、
あまりにも曖昧としすぎている。

目標設定をする際は、必ずそこに数値を入れるべきだ。

これについては、
かなり重要なので、後でもう一度触れておこう。

そして、次に決めたのが、
何を覚えるのか、という問題だ。

単語の意味か？スペルか？発音はどうする？アクセントは？
派生語も覚えたほうがいいのかも。意味は何個覚えるんだ？

ここを明確にしておかないと、「英単語を覚える」といっても、
どこを覚えるのかわからなくなってしまう。

ここはキッチリと決めるべきだ。

当時の私はどうしたのかというと、
「**1つの単語、1つの意味だけ**」を覚えた。

ように、

「develop 発達する、展開する、開発する」とあつたら、
「develop 発達する」だけを覚えたということだ。

このように絞ることが重要である。

もっとも、当時私が使ってたアプリでは、
4択問題で1つの意味しか載っていなかったのもあるが、
これが短期間で英単語を身につける上でも功を奏した。

そして、次に重要なのが、
どれくらいの精度で覚えるのか？である。

違う言い方をすると、
どこまでできればOKサインを出すのか？である。

英単語を2000語覚えること。
1つの単語、1つの意味だけ覚えること。

この2つは決めた。

あとは、どこまでできれば「できたこと」にするのか？
これを決めなければならない。

英単語2000語を1つの単語1つの意味だけ覚えると言っても、

1回正解したらそれで覚えたことにするのか？

10回正解したらそれで覚えたことにするのか？

この基準を決めておかないと、
いつが終わりなのか？がわからない。

では、
このときの私はここをどう決めたのか？というと、

「4択問題を2000問連続で正解できればOK」
という目標値に設定した。

つまり、2000問連続で正解するまで、
ずっと、英単語アプリを解き続けることにしたのだ。

この目標設定は悪くない。
連続正解というのがポイントだ。

連続で正解しなければダメ、という縛りでやれば、
間違えるたびに何度も繰り返す羽目になる。

この繰り返しこそが、
英単語のような単純暗記系の勉強をする際の鍵だ。

よく、参考書を1度か2度勉強しただけで満足する人がいるが、
それでは甘い。

やるのであれば、徹底的にその参考書をやり込み、
完璧にすべきである。

しかし、実は、そう考えると、
私の目標設定もまだまだ甘い。

もっと英単語を徹底的に覚えるのであれば、
「**4択問題を2000問連続正解するのを7回できればOK**」
とすべきだろう。

2000問連続正解を7回すれば、
さすがにほとんどの英単語を覚えているはずだ。

これを読んでいる受験生には、
こちらの基準で勉強することを強くオススメする。

基本は徹底するに越したことはないからね。

そして、実はこの話、英単語に限った話ではない。

数学の問題集を解く場合でも同じだ。

1回解ければOKなのか？

それとも、10回解けて初めてOKを出すのか？

ここを決めておかなければ、中途半端に終わってしまう。

だから、ここでも同じで、
もし正解した回数でそれを決めるのであれば、
7回正解したらその問題を解けるようになったと判断しよう。

なぜ7回なのかというと、7回繰り返しさえすれば、
どんな人でもその参考書を完璧に仕上げられるからだ。

逆に言うと、
同じ参考書を7回繰り返して勉強してない状態で成績が上がらず、
「自分は頭が悪いんだー」と決めつけるのは、気が早い。

1回や2回勉強しただけで、覚えられたら苦労しない。

諦めるのは、7回繰り返してからにしよう。

話を戻すと、
私は「4択問題を2000問連続で正解できればOK」と決め、
英単語の勉強をすることにした。

そして、次に私が決めたのは、
いつまでにこの勉強を終わらせるのか？という期限だ。

これを決めるのは、少々心苦しいところもあるが、
絶対に決めておいたほうがいい。

それはなぜか？というと、
勉強に集中することもできないし、
次に勉強計画を立てる際の予測も立てられないからだ。

期限のない計画は存在しない。

期限を決めない勉強計画は、
ただの妄想でしかない。

ここはしっかりと決めること。

では、当時の私はどう考えたのか？

その思考プロセスを話していこう。

まず私は、期限を決めるために、
1周だけその英単語アプリを通してやってみた。

どれくらいの時間がかかるのかわからなかったので、
試しに一度やってみたのだ。

自分が今からやる勉強に、
どれくらいの時間がかかるのかわからない人は、
こうやって試しにある程度勉強してみるといい。

そこから勉強時間を予測して、
しっかりと期限を決めることが大切だ。

そして、試しにやってみたところ、
英単語1つあたり、最大でも3秒しかかからないことがわかった。

それもそのはず、
1つの単語、1つの意味しか覚えられないので、大して時間はかからない。

平均すると、1つの単語につき2秒前後に落ち着いた。

このデータをもとに、
どれくらいの時間がかかるのか予測するのだ。

仮に1つの単語につき2秒かかるとして、
全部で2000語あるので、全部で4000秒＝約67分。

余裕を持って考えると、
80分あれば1周できる計算になる。

これが**指標**になる。

あとは、
1日にどれくらい勉強時間があるのかを確認すれば良い。

といっても、
ここまで厳密にやらなくても構わない。

最後は頑張れば達成できそうな期限にすれば良い。

私の場合は、3日もあれば達成できそうだったので、
3日以内に英単語2000語を覚えることを目標にした。

そして、実際に3日目には、
2000問連続で正解することができたのだ。

ここらへんで1度、
勉強する前に私が何を決めたのかおさらいしておこう。

覚えるのは英単語の意味。
1つの単語、1つの意味だけ。

それ以外は覚えない。

覚える単語数は2000語で、
大学受験における基本的なレベルの英単語のみ。

4択問題の英単語問題を2000問連続で正解するまで。
期限は3日以内。

おっと、1つ話し忘れていたが、
やるのは英語→日本語のみ。

日本語→英語に訳す能力は、
当時の私にとって、まだ必要ないからね。

長々と話してきたが、
まとめてしまうとこんなものだ。

何度も言っているが、大事なものは、
これらを決めるまでの思考プロセスだ。

この思考プロセスを理解していないと、
いざ、自分が試そうと思った時に、
なかなか自分でアレンジすることができない。

結果だけを見ると、
3日以内に仕上げるのが大事だと捉えてしまったり、
1つの単語、1つの意味だけ覚えるのが大事だと、
勘違いしてしまうだろう。

表面的なことだけ真似しても、
その裏側の思考を理解していないと意味がない。

同じ授業を受けても、
成績が上がる人と上がらない人がいる理由もそこにある。

大事なのは、「何をやるか？」ではなく、
「なぜやるのか？」 「どうしてそれをやるのか？」といった、
思考の部分だ。

そして、途中で何度も述べたが、
勉強するときは数値で目標設定をすることが、
極めて重要である。

それはなぜか？というと、
数値設定をするということは、絞ることに直結するからだ。

数値を設定することで、
勉強計画がより具体的になると言ってもいい。

「英単語を頑張る」

「大学受験の基本レベルの英単語を覚える」

「英単語をたくさん暗記する」

これではあまりにも抽象的で曖昧すぎる。
これでは何も言っていないのと同じだ。

もっと縛りを効かせないとダメ。

そのための数値設定である。

ここをしっかりと決めておかないと、
勉強するやる気も湧いてこないし勉強してても集中できない。

やるのであれば、

大学受験のセンター試験レベルの英単語1500語を、
7日間以内に英語→日本語訳だけ1秒で言えるレベルで覚える。

勉強方法はアプリを使い、
勉強するのは移動時間と夕食後から寝るまでの間。

アプリの4択問題1500問連続正解を7回した時点で、
全て覚えられたことにする。

このように具体的な数値を決め、
いつ勉強するかを決め、期限を決め、覚える単語数を決め、
超具体的な目標設定をしなければ意味がないわけだ。

先ほどの、

「英単語を頑張る」

「大学受験の基本レベルの英単語を覚える」

「英単語をたくさん暗記する」

といった目標設定が、
どれほどダメか、見比べればわかるだろう。

これが、勉強する前の段階で、
考えておくべきことである。

自分が何かしらの勉強をする時は、この文章を参考に、
ぜひともしっかりと考えた上で、勉強していただきたい。

さて、ここままで、英単語の勉強を始めるまでの、
思考プロセスについての話をさせていただいた。

ここまでも、
勉強するまでに何を考えておけば良いのか？が、
かなりクリアになっただろう。

それでは、これからいよいよ、
「実際に勉強する時に何を考えるのか？」について話していこう。

まず、英単語の勉強に限らず、
単純暗記系の勉強をする時にいつも意識すべきことが、
異常なほどにスピードにこだわるということだ。

このスピードという概念は合否に直結するレベルで重要。

ここをしっかりと意識している人、意識していない人では、
得点力も、勉強効率も、勉強時間も、
受験勉強におけるその全てが変わってくると言っても過言ではない

スピードを意識しないのは受験生として失格である。

ここでいうスピードとは、
あらゆる場面でのスピードのことを言っている。

暗記するスピード、問題を解くスピード、切り替えるスピード、
見切りをつけるスピード、思い出すスピード、読むスピード。

なんでもいい。

違う言い方をすれば、
時間を意識するということだ。

誤解をしないようにもっと詳しく言うと、
短時間でこなすことを意識するということだ。

受験生の中には勉強時間を増やすことに安心感を覚える人がいるが
それは断じて間違っている。

1日14時間勉強するような勉強計画は、
一見すると真面目で一生懸命な受験生に見えるが、
そうではない。

その14時間でできる勉強量を、
どうすればもっと短時間で達成することができるのかに、
頭を働かせるべきである。

安易に勉強時間を増やすのは、
ただの思考停止状態にすぎない。

勉強時間がどうしても足りないという人は、
勉強時間ではなく勉強法を変えて、
もっと効率よく勉強できないか？を考えるべきなのだ。

そして、効率を良くすることとは、
すなわち、スピードを速くすることでもある。

ここを徹底している人は、
実際の試験でも結果を出すことができる、

普段から、スピードを意識している受験生は、
問題を読むとき、問題を解くとき、解答を書くとき、
あらゆる場面で他の受験生と差をつけることができる、

そして、そのスピードの差がそのまま、
点数の違いとなって現れるのだ。

点数の違いとは、
それすなわち合否の違いである。

これがスピードを意識すべき理由だ。

これはもちろん、英語にも当てはまる。

早い話が「dog」という単語を見たときに、
瞬時に「犬」と意味が出てこない受験生は落ちる。

だからこそ、英単語の勉強をするときも、
あらゆる「スピード」にこだわらなければならない。

試験時間に制限時間が設定されているように、
大学受験にも試験本番までの制限時間が設定されている。

もっというと、
私たちの人生そのものにも制限時間が設定されている。

つまり、時間という概念からは、
何をしようにも逃れられないということだ。

だから、スピードを意識する。

早い話が、
スピード狂になれ！ということだ。

実際に私が英単語を覚えたときも、
めちゃくちゃにスピードを意識した。

スピードを意識するを別の言葉で言うと、
短時間で終わる人が神という価値観のもと、
勉強するということだ。

だから私は、英単語の4択問題を解くときも、
1問につき1秒で解けるように努力した。

もっというと、
問題が切り替わって、英単語の音声の流れてる間に、
解答しなければ負けだとさえ思っていた。

それくらいのレベルで、
スピードにこだわるのが重要である。

これをやっていると、
普通に解いて、1問につき平均2秒かかっていたのが、
もっと短時間に判断できるようになってくる。

瞬時に判断するという事は、
脳内に英単語の意味が焼き付いているということだ。

迷いが生じた時点でそれはタイムロスになる。

迷いとは思考停止状態のことだ。

それをなくすためにも、
私は英単語の意味を反射で答えられるように、
何度もなんども反復し、覚えまくったのである。

そして、実際、問題を解くスピードが速くなると、
勉強にかかる時間も短くなる。

その勉強にかかる時間が短くなると、
他の勉強に時間をかけることができる。

ようするに、良いことづくめだ。

逆に、スピードを意識しない受験生は、
不合格一直線の受験生と言えるだろう。

やるからには、全国1位のスピードを目指し、
ぜひともスピードにこだわって勉強していただきたい。

実際に私が英単語をどうやって勉強したのか？というと、
どうやってもクソもなく、1日中そのアプリをやっていた。

瞬時に答えを出しまくって、間違えたら即やり直す。
わからない英単語が出てきても、速攻で4択から答えを選ぶ。

それをひたすらに繰り返していたのだ。

ここで大事なのは、英単語の暗記をするときに、
考えてもわからないものは考えないということだ。

人生で一度も、
「ドルニケント」という言葉を聞いたことも見たこともない人は、
その単語の意味なんてわかるはずもない。

そして、このレポートを読んでいる人の中で、
この単語の意味をわかる人はおそらくいないだろう。

なぜなら、
今適当に作った言葉だからだ。

わからないものは、考えても時間の無駄である。

そして、英単語のような単純暗記の分野は、
考えてしまった時点で負けだ。

1秒で答え、1秒で間違え、1秒で正解するまで繰り返す

考えている時点で、
それはわからないことを意味する。

考えればわかるということは、
考えないとわからないということだ。

考えればわかるということは、
時間をかければわかるということだ。

しかし残念ながら、
実際の入試では制限時間というものがある。

だから、時間にこだわり、
考えずに答えられるレベルまで極めなければならない。

だから私は、英単語を覚えるときは、
異常なほどにスピードにこだわった。

知っている単語の意味を答えるのも一瞬だが、
知らない単語の意味を答えるのも一瞬だ。

1秒で答えるのだ。

10秒で答えて、わかっている気になるよりも、
1秒で答えて間違っている方がマシだ。

1秒で答え、1秒で間違える。
1秒で正解するまで、永遠にそれを繰り返す。

英単語問題を解き続けるだけの機械のように、
永遠と繰り返しまくるのだ。

私は、一喜一憂する感情が入り込む隙がないほどに、
その英単語アプリに没頭していた。

この没頭する感覚があるかないかで、
勉強効率は鬼のように変わってくる。

現に、没頭する感覚に陥ってる時、
人間の体感時間は驚くほど短くなる。

身近な例を出すと、
月曜日にジャンプを読んでいるときがそれだ。

ジャンプでワンピースの最新話を読んでいるときに、
「今日のご飯何かなー」なんて考える人はいない。

そのストーリーにのめり込み、
ただただ夢中でページをめくっていることだろう。

あの感覚だ。

**勉強に集中するということは、
没頭するということだ。**

集中するということは、
他の全てを無視し、捨てるということだ。

頭の使い方が悪いその感覚に入り込むためにも、
スピードを意識するのが大事なんだ。

スピードを意識せずに勉強する人は、
いつまでたっても英単語を覚えられないだろう。

そして、そういう人に限って、
私には集中力がないとか、記憶力がないとか、
私は頭が悪いんだーと嘆いている。

アホか。

強いて言うのであれば、
頭が悪いのではなく、頭の使い方が悪い。

人間はそもそも、
集中力もないし、記憶力もないし、頭も悪い生き物だ。

それを踏まえた上でどうにかするからこそ、
受験勉強は面白くなってくるし、人と人との間に差が生まれてくる。

集中しよう！とか思うのではなく、
ただただスピードを意識するのだ。

昨日30分でできたことなら、
今日は25分でできるように心がけるんだ。

何度もなんども言うておく。

短時間でやれ。

スピードを意識しろ。

1秒で答え、1秒で間違い、1秒で正解しろ。

1秒で繰り返せ。

全国1位のスピードを目指せ。

そうやってスピードを意識するだけで、
集中できるし、勉強効率も上がるし、得点力も上がるし、
何事もうまくまわってくる。

英単語の暗記をするときにかかわらず、
受験勉強をする全ての過程において、
ぜひとも「スピード」を意識していただきたい。

ぶっちゃけ、これが全てである。
スピードを意識するだけで、あなたの成績は一変するだろう。

当時の私は、スピードを意識し、
速く解ける人は神であるという価値観の元、
永遠に英単語アプリをやり続けた。

その結果、
英単語2000語の意味を3日で覚えることができたのだ。

そして、その後、
センター試験の英語の過去問を解いたら、
初めは40点だったのが131点になっていたという話である。

今回は英単語の勉強法についての話なので、
なぜ131点取れたのか？に関しての話は割愛させていただく。

英単語が暗記できなくて困っている人は、
まずは私のこの方法を真似していただきたい。

ちなみに、この勉強法は、
英単語以外の単純暗記系の勉強全てにおいて通用する。

英熟語、古文単語、漢字、世界史や日本史の用語。

なんでもいい。

特に、まだその科目に手をつけてなくて、
どう勉強すればいいのかわからないという人は、
とりあえずこの勉強法で基本知識を覚えてみよう。

さて、ここまで話してきたことは、
言ってしまうと、英単語勉強法の基本だ。

これさえ守って勉強しておけば、大抵のことはうまくいく。
が、そうはならないこともある。

実際に勉強してみればわかるが、
これだけで全ての英単語を覚えられるか？というと、
そうではない。

英単語の勉強をしていると、
1度勉強すれば覚えられる単語もあれば、
なぜか何度勉強しても覚えられない単語もでてくるだろう。

そのときに大事なのが、
そういった状況に応じた様々な勉強法を知っておくことである。

英単語の意味が覚えられない理由を分析し、
その原因に合わせて対処することが大事になってくるわけだ。

医者が病気を治すのと同じ。

覚えられないという病気の原因を突き止め、
それに合わせた治療を施す必要があるわけだ。

ここをうまくこなせるかどうかで、基本を押さえたあと、
そのまま成績が伸びていくかどうかは決まってくる。

この壁でつまってしまう人は、
偏差値60～65くらいで成績が停滞してしまうだろう。

これは他の科目でも同様だ。

正直な話、
最初は何かをやりさえすれば、ある程度成績は上がる。

勉強時間が0、知識が0だった人が、
何かしら勉強をすれば、そりゃあ結果は出る。

でも、大事なのはそのあとだ。

全てが順調に進むのであれば、
成績が上がらずに困る受験生なんて出てこない。

勉強していれば必ず壁にぶち当たる。

今までの勉強が通用しない。
勉強しても勉強しても成績が伸びない。

そんなときに大事になってくるのが、
一度立ち止まって、今一度自分の成績が伸びない原因、
点が取れない原因を見直すことである。

これから話すのは、そうなったときの対処法についてである。

英単語の勉強に行き詰まっている人は、
ぜひとも参考にさせていただきたい。

第3章

私が実践して超役に立った 何度勉強しても全然覚えられない英単語を 効率的に覚えるための勉強法厳選3選

ここで1つ質問。

覚えやすい英単語とは何か、わかるだろうか？

20秒ほど考えていただきたい。

思いつきで気軽に答えていただいて構わない。

おそらく、
こんな感じの答えが出てくるだろう。

日常的に使うものの名前。
日本語で既に使われている単語。
mirror=鏡など、単純な物の名前。
動物の名前。
イメージしやすいやつ。
スポーツで使われている言葉。

などなど、いろんな答えが出てくると思う。

実は、これこそが、
覚えにくい英単語を覚えるためのヒントなのだ。

日本語で言われてわからないことは、英語で言われてもわからない
先ほど挙げた答えを抽象化すると、
既に日本語で意味を知っている言葉、となる。

つまり、
日本語ですでに意味を知っている言葉でなければ、
英語でそれを言われてもわからないということだ。

これはある意味で当たり前だが、
しかし、誰もが見落としがちな真実である。

私たちは、
日本語でわからないことは、英語で言われてもわからない。

つまり、日本語で「灌漑」が何を意味するかわからない人は、
英語で「irrigation」が「灌漑」を意味すると言われても、
それを覚えることができないわけだ。

これが英単語学習の落とし穴である。

簡単にいってしまえば、
英単語が覚えられない人は、英語以前の話で、
日本語ができていない可能性が高いのだ。

ここでいう日本語は、
大学受験の入試科目でいうと、現代文という科目に近い。

現代文でよく出てくる、頻出のキーワード、
具体、抽象、アイデンティティ、概念、形而上など、
こういった言葉がわからないと英単語も覚えられないのだ。

つまり、そもそも英単語が覚えられない人は、
現代文ができていない可能性が非常に高い。

逆に言うと、現代文さえできれば、
英単語はラクに覚えられるというわけだ。

だからこそ、
英語の成績は現代文をやれば伸びる。

これは間違いない。

私たちは母語である日本語以上に、
外国語である英語ができるようになることはないからだ。

これが覚えにくい英単語をチェックする上で、
知っておくべき大前提である。

自分はその英単語の意味を、
日本語で人に説明できるレベルで理解しているのだろうか？

ここをしっかりと確認していくべきだろう。

それを踏まえた上で、ここからは、
より具体的に覚えにくい英単語の覚え方について話していく。

そもそも私たちが日本語を話すとき、
頭の中で何が起きているのか？というところ、
まず喋りたいことのイメージが頭の中にある。

これ伝えたいなーという情報が、
頭の中にボワボワーっと浮かんでいるわけだ。

そして、そのイメージを伝えるために、
私たちは日本語という言語を使っているに過ぎない。

つまり、本質的には、
私たちは、言葉そのものを伝えたいのではなく、
頭の中でイメージする情報を伝えたいのだ。

これがコミュニケーションの核であり、
私たちが言語を介してやろうとしていることである。

つまり、そのイメージさえ知ってしまえば、
ある程度簡単に英単語も覚えられるというわけだ。

1つ例をだそう。

こちらをご覧ください。



「この写真に写っている動物の名前はなんですか？」

と聞かれたら、
私たち日本人は「キリン」と答えるし、
英語が母語の人は「giraffe」と答えるだろう。

このように具体的な物の名前は、
イメージしやすいので覚えるのも簡単だ。

英語だけでなく、フランス語、ドイツ語、中国語を覚える場合でも、
こういった具体的な物の名前を覚えるのが簡単なのは、
容易に想像できると思う。

ここで考えるべきは、
なぜ簡単だと思えるのか？である。

それが分かれば、自分の英単語学習に、
何か活かせるところはあるだろう。

そして、その答えは簡単だ。

先ほどから言っている通り、
イメージしやすいからこそ、私たちは簡単に覚えられるわけだ

「象」は英語で「elephant」だよ。

と言われたとき、

スペルはともかく、意味が簡単に覚えられるのは、
こういうイメージがパッと頭の中に思い浮かぶからだ。



ここから、逆転の発想で考える。

それは何か？というと、

英単語の勉強をしながら、覚えにくい英単語が出てきたら、
まずはイメージから頭の中に入れるという発想だ。

しかし、そんなことできるのだろうか？

イメージを頭に思い浮かべられないからこそ悩んでいるのに、
そんなうまいこといく勉強法があるのだろうか？

と、疑問に思うかもしれないが、
実は、文明の利器がそれを可能にしてくれている。

それは何か？というと、
Googleの画像検索だ。

私たちはGoogleの画像検索のおかげで、
イメージを検索できるようになったのだ。

例えば、
「irrigation」という英単語の意味がわかるだろうか？

ある程度英単語の勉強をしている人はすぐに、
「灌漑」と浮かんでくるだろう。

それで正解である。

それでは「灌漑」とは何か、
わかりやすく説明できるだろうか？

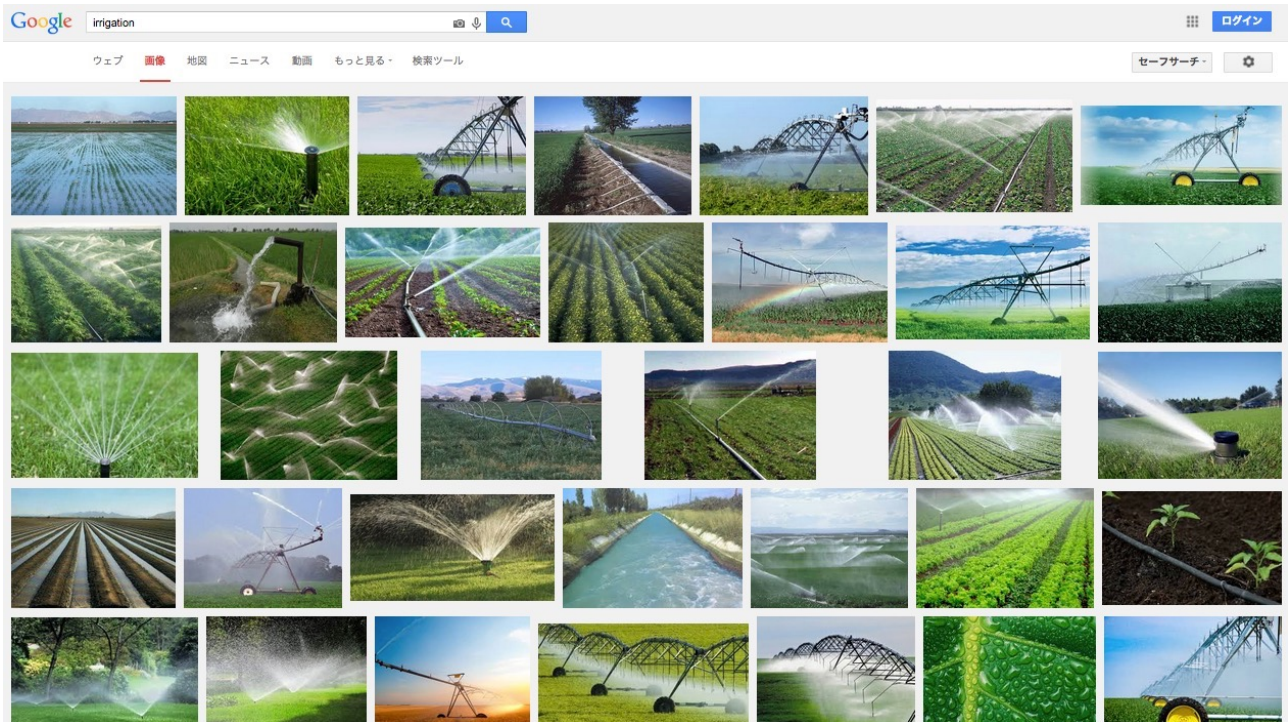
おそらく大体の人は、
えーっと、と少し考え込んでしまうだろう。

それはなぜか？というと、
映像が頭の中に浮かんでこないからだ。

そんなときに役に立つのが、
Googleの画像検索である。

こちらが「irrigation」の検索結果だ。

Googleの画像検索で言葉のイメージを検索できる時代



もう少し拡大してみよう。



Googleの画像検索で言葉のイメージを検索できる時代
ようにするに、水を撒いているのである。

灌漑の正式的な意味は、

「農地に外部から人工的に水を供給すること」であるが、
農業に関係してること、水を引っ張ってくること、
この2つが分かればそれでいい。

しかし、画像でそれを見てしまえば、
一発でその言葉によって伝えたいイメージがわかる。

「あー、なるほど」となるわけだ。

「灌漑ってのは、農地に水を引っ張ってくることだよ。」
「ようするに、これさ。」

とって、この画像を見せれば、
瞬時に理解できるだろう。

これがGoogle画像検索の威力だ。
まさに百聞は一見に如かず。

聞いてわからず、読んでわからなければ、
見れば良い。

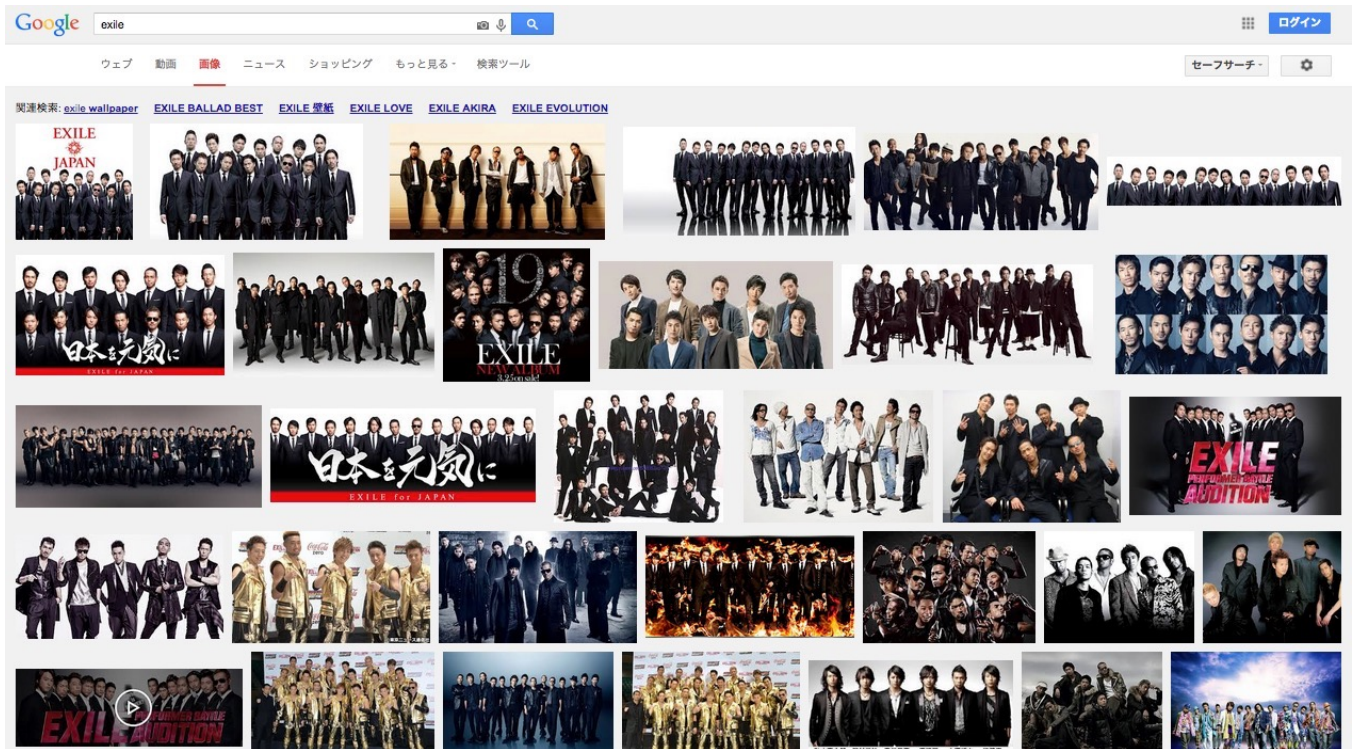
それがGoogle画像検索勉強法である。

欠点があるとすれば、
画像検索をしても思うような結果が出ないときがある、
ということだ。

Googleの画像検索で言葉のイメージを検索できる時代

例えば「exile」。

これは「追放」「放浪者」を意味する英単語だが、
Google画像検索で出てくるのは当然こちらの「exile」だ。



放浪してる人の画像が出てくるはずが、
パリッとしたスーツを着こなしてダンスも踊っちゃう、
カッコイイ集団の写真が出てきてしまっている。

こんな風に、
意図したのとは違う画像が出てくることも多々あるので、
注意していただきたい。

ちなみに、
Google画像検索の方法は、

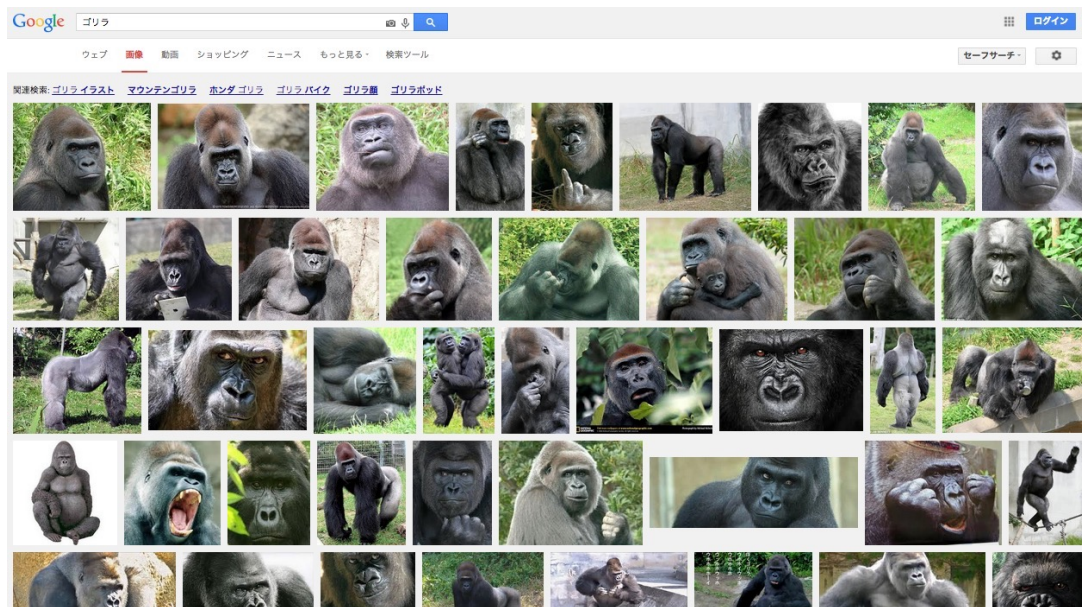


Googleの検索窓に調べたい言葉を入力していただき、



左上の「ウェブ」というところが選択されているのを、
隣の「画像」をクリックし、選択し直すだけである。

すると、
こんな感じで画像検索の結果が出てくるというわけだ。



これだけで、
検索ワードに該当する様々な画像が出てくるわけだ。

そしてこれは、べつに英単語に限らず、
英熟語や、地名、物理法則、人名、歴史的事件の名称など、
他の様々な科目、分野でも使える勉強法である。

んーよくわからん。
これってどういうこと？

と、疑問に思ったときには、
この画像検索で調べてみるといいだろう。

ちなみにGoogleだけではなくYahoo!でも同じことができるので、
ぜひ一度試してみると良い。

悩んでる暇があったら、すぐにはりサーチしてみよう。

と、ここまでで、
Google画像検索を使った勉強法について話してきたが、

ここで1つ忠告しておく。

それは、この勉強法は、
あくまでも英単語を覚えられなかったときの、
最終手段の1つ、ということだ。

すげえ！これ超便利じゃん！

と、試してみたいくなる気持ちはわかるが、
この勉強法には時間がかかりすぎるという欠点がある。

すべての英単語において、
この勉強法で覚えようとしていては非常に効率が悪い。

先ほども述べたが、
大学受験はスピード命。

これはあくまで英単語がどうしても覚えられなかったときの、
最終手段の1つだ。

そう気軽に使うべき物ではない。

これから、他の勉強法に関しても話していくが、
基本的には、同様である。

大学受験において、一番効率な勉強法は、
先ほど話したスピード命の超高速英単語学習法だ。

今話している勉強法は、
どうしても覚えられない英単語が出てきたとき、
仕方がないから使う最終奥義的な勉強法である。

具体的に言うと、
英単語を2000語覚えようとしたときに、
どうしても覚えられない英単語100語が明確になってから。

ようするに95%くらいの英単語を覚えてから、
残りの5%の英単語を覚えるために試す勉強法の1つである。

これはあくまでも1つの目安ではあるが、
それくらい覚えられない英単語を絞ってから、
試すべき勉強法だろう。

とはいっても、Google画像検索勉強法は、
見た目でイメージが一発でわかるという、
非常に強力で効果的な勉強法でもある。

覚えられない単語がある人は、
ぜひ一度画像検索を試してみよう。

次に、覚えられない英単語が出てきたときのための、
べつの勉強法について話しておこう。

次に話す勉強法は、
基本的にはどの単語でも使える勉強法なので、
非常に有効的な勉強法だ。

また、様々な英単語の繋がりを知ることがもできるので、
記憶もより強固なものになっていくだろう。

そして、未知の英単語を類推する際も、
この勉強法で培った知識は非常に役に立ってくる。

その勉強法とは、一体何なのか？というと、
英単語を語源から学ぶ、語源勉強法である。

これは非常に強力な勉強法だ。

語源というのは、ようするに、
その単語が何から出来上がっているのか？を明確にしたものだ。

それって覚えやすくなるの？

と疑問に思うかもしれないが、
実はこれ、非常に強力に記憶に残るのである。

例えば「abnormal」、
こちらの英単語は「異常な」という意味だ。

仮に、この英単語が覚えられないときにどうするのか？というと、
「abnormal 語源」と検索するのだ。

そうすると、「abnormal」という英単語は、
「ab」と「normal」とに分解できることがわかる。

そして、「ab」が「離れた」という意味の「接頭辞」で、
「normal」が「標準的な」という意味であることがわかる。

「normal」はポケモンの「ノーマル」タイプのそれだ。

ようするに、
「abnormal」は「標準」から「離れている」からこそ、
「異常」という意味なのだ。

これが語源から英単語を学ぶ勉強法である。

ちなみに、「normal」はもっと細かく分けることができ、
「norm」と「al」に分解できる。

「norm」は日本語にもなってる「ノルマ」の語源で、
「規範」とか「一般的な水準」を表す名詞。

「al」は「名詞を形容詞化」する「接尾辞」である。

「名詞を形容詞化する」というと小難しい気がするが、
日本語でいう「的な」とか「っぽい」とかと同じだ。

「ゴリラ」だとただの名詞だが、
「ゴリラっぽい男」というと名詞を修飾する形容詞になる。

これと同じ。

「normal」の日本語訳にも「標準的な」というふうに、「的な」が入っているだろう。

そういうことである。

ちなみに「al」は「animal」のように、「名詞を作る接尾辞」としての役割もあるので、要注意。

こういった知識は、繰り返し調べていく中で、自然と覚えることができる。

このように、言葉の成り立ちから覚える勉強法が、語源勉強法である。

そもそも、形容詞や副詞が何か、品詞とは何なのかが、何も見ずに説明できるレベルでわかっていない人は、文法の勉強をしてからこの勉強法は試すようにしよう。

そして、こうやって英単語を覚えていると、「接頭辞」や「接尾辞」が自然と覚えられるようになる。

「接頭辞」というのは、要するに日本語でいう、「超大陸」の「超」、「軽自動車」の「軽」、「非常識」の「非」と同じで、単語の頭にくっついて意味を付け加える言葉だ。

「接尾辞」はその逆で、「圧倒的」の「的」、「耐熱性」の「性」、「男っぽい」の「っぽい」と同じで、単語の後ろにくっついて意味を付け加える言葉。

こういった接尾辞、接頭辞を覚えていくと、
未知単語の類推もできるわけだ。

例えば「abuse」。

この英単語の意味は「乱用」である。

接頭辞、接尾辞の知識や発想自体がない人は、
これをそのまま丸暗記するしかない。

しかし、先ほどのように「abnormal」を語源から覚えた人は、
「abは離れるって意味の接頭辞ではないか？」と、
類推することができる。

すると「abuse」が「ab+use」に見えてくるわけである。

日本人が「鰯」と書いてある漢字を見て、
「魚へん」に注目してしまうのと同じだ。

「接頭辞」「接尾辞」というのは、
漢字でいう「部首」みたいなものだ。

そして、「ab」が「離れた」で、「use」が「使う」であるから、
これら2つが合わせって、
「離れた使い方＝乱用」となるわけである。

こうやって覚えると、
そこには謎解きをした後のような達成感、感動があるわけだ。

人は心動かされたものを、
簡単に記憶にとどめておくことができる。

今までなかなか覚えられなかった英単語の語源を調べて、「なるほど、そういうことだったのねー」となるわけだ。

これが、語源勉強法である。

ようするに、
語源というのはその言葉の持つストーリー。

その言葉の持つドラマなわけだ。

言葉は何の脈絡もなくできるわけではなく、
何かしらの歴史を元に生まれてくる。

それを知ること、
今まではなんとなく覚えにくかった英単語が、
なじみ深いものに見えてくるわけだ。

こうやって、英単語を覚える勉強法が、
語源勉強法である。

ここでもう一度忠告しておく、あくまでこの語源勉強法も、
基本となる「超高速英単語勉強法」を試してから、
やるべき勉強法である。

それはなぜか？という、
語源勉強法はあまりに時間がかかりすぎるからだ。

語源を調べるのは楽しいかもしれないが、
それに熱中していると「勉強効率」が悪くなる。

何度も言っておくが、
大学受験では時間が限られている。

効率を意識して勉強し、試験問題を解いた人が受かり、
そうでない人が落ちる。

それが大学受験だ。

だからこそ、
ここでも効率を意識しなければならない。

また語源を調べて感動し、効率的に覚えることができるのは、
ある程度の語彙があつてこそその話だ。

いきなり語源を調べて、
「接頭辞がー」とか「接尾辞がー」とか言われても、
気が遠くなって眠くなるだけである。

まずは2000語、3000語、4000語と英単語を覚えて、
その上でやるべきなのが、語源勉強法である。

受験生が一番に考えるべきは、
志望校合格であることを忘れてはならない。

そして最後に、
どうしても覚えられない英単語が出てきたときに、
最も効果的な勉強法に関して紹介する。

その勉強法とは何か？というと、
覚える際の日本語訳を変える英単語勉強法だ。

これが覚えにくい英単語を覚えやすくするための、
最も簡単で効果的な勉強法である。

そもそもの話、
ある特定の英単語が覚えられない場合、
その単語の日本語訳に問題があることが非常に多い。

ほとんどの受験生は、英単語を暗記する際、
単語帳に書かれているままの日本語訳を、
そのまま丸暗記しようとするだろう。

ここで問題なのが、
単語帳の日本語訳が「自然な日本語訳じゃない可能性がある」
ということだ。

ここでいう自然な日本語訳というのは、
普段の生活の中で自然と使われている日本語のことである。

そもそも単語帳に書かれている訳というものは、
神様が決めたものでも、自然と出来上がったものでもない。

その単語帳を作った人が、勝手に決めたものである。

簡単な話が、
その日本語訳がよくわからないからこそ、
英単語の意味が覚えられないということだ。

例えば、「assimilate」という英単語。

私の手元の英単語帳には、
「同化する、吸収する」という意味が書いてある。

そして「同化する」が覚えるべき日本語訳として、
「**同化する**」のように赤字で書いてあるのだ。

ここで1つ質問。

この1年間で「同化する」という日本語を、
使った覚えがあるだろうか？

恐らく、ほとんどの人は、
「同化する」の言葉の意味はわかっても、
この1年間で1度も使った覚えはないだろう。

これが日本語訳が悪いことによって、
英単語が覚えられない具体例である。

繰り返しても繰り返しても、
どうしても英単語の意味が覚えられない場合、
このように、その日本語訳に問題がある可能性が非常に高い。

この「assimilate」という単語を覚えづらくしているのは、
その日本語訳に原因があるわけだ。

だからこそ、どうしても英単語の意味が覚えられないときは、その日本語訳を覚えやすい訳に変えてしまえば良い。

今回の例でいうのであれば、
「同化する」ではなく、その隣に書いてある「吸収する」
という意味で覚えたほうが遥かに覚えやすいだろう。

そうやって日本語訳を変えるだけで、
英単語の意味は遥かに覚えやすくなる。

もう1つ例をだそう。

私が受験生のとき、
どうしても覚えられない英単語が2つあった。

それが「**imaginary**」と「**imaginative**」である。

あなたはこれらの英単語の意味が、
わかるだろうか？

私は受験生のとき、
よくこの2つの英単語の意味を間違えた。

模試で出るたびに、
「あれ？これって[架空の]って意味だっけ？」
「それとも[想像の]って意味だっけ？」と悩まされた。

と、同時に、
めちゃくちゃイライラした。

なんでまたわからないんだ？
俺はバカなのか？

そして、そうやって間違えるたびに、
毎回悔しい気持ちになり、覚えようと努力した。

理論上、間違えるたびにちゃんと学び直せば、
いつしか絶対に、どの単語も覚えられる。

大学受験の鉄則は繰り返し。

ということで、
何度も何度も、繰り返し繰り返し音読した。

でも、いくら音読しても覚えられない。

だから今度は、
書いて書いて書きまくった。

繰り返しやったら、
いつかは絶対覚えられるはず。

でも、覚えられなかった。

くっそおおお!まじうぜえ!

こういった経験、ないだろうか？

ある単語が、どうしても覚えられない。
他の単語と間違えてしまう。
いくら繰り返しても、頭の中でごっちゃになる。

受験勉強をしていると、
そんな悩みが出てくるだろう。

そんなときに使えるのが、
日本語訳を変えて覚えるという英単語勉強法である。

先ほどの2つの英単語。

「imaginary」と「imaginative」

なぜ、私は、
これらの英単語を覚えられなかったのか？

実は、その原因は、
単語帳の日本語訳に由来する。

というのも、
単語帳にはこのように書いてあったのだ。

「imaginary 架空の」

「imaginative 想像の」

これが諸悪の根源である。
受験生の皆さんも気をつけた方がいい。

実は、何度繰り返しても、
英単語の意味が覚えられない原因は、
その日本語訳に存在する。

端的に言うと、私の場合は、

日本語で、
これら2つの単語の意味の違いがわかっていないからこそ、
その英語の意味が覚えられなかったわけだ。

これがすべてである。

つまり、私は、
日本語の「架空の」と「想像の」の意味の違いが、
わかっていなかった。

だから、それらを英語で言い換えた、
「imaginary」と「imaginative」の意味が覚えられなかったのだ。

そもそも、日本語でその意味がわかってない単語を、
英語で言われたところでわかるはずもない。

これは、先ほども言った、
英単語を覚える上での大原則である。

日本語で「犬」が何を意味するかがわからない人は、
当然、英語で「dog」と言われても理解できない。

「dog」を理解するためには、
まず日本語の「犬」を知る必要がある、ということだ。

超ざっくりとまとめると、

日本語で言われてわからないことは、
英語で言われてもわかるわけないでしょってこと。

現代文の勉強をすれば、
英語の成績があがる理由はここにある。

私たちは、母語である日本語以上に、
英語を身につけることができない。

だからこそ、
どうしても英語の成績が上がらないときは、
日本語の勉強をする必要があるわけだ。

そこで、だ。

こんな紛らわしい英単語に出会ったとき、
一体どうすればいいのか？

繰り返し勉強してれば、
いつかは覚えられるようになるのか？

確かに、
その選択肢もなくはない。

でも、もっとスマートに、
スッキリとこれらの英単語を覚える方法もある。

それは何か？というと、
英単語を覚えるときの日本語訳を変えて覚えるという対処法だ。

もし、なかなか覚えられない英単語が出てきたら、
基本的にはこちらで対処した方が良い。

具体的にどうすべきなのか？

先ほどの、
「imaginary」と「imaginative」で説明しよう。

まず第一にやるべきこと。

それは、これら2つの単語を、
英和辞典で調べることだ。

すると、日本語訳が出てくる。

「imaginary 想像の、架空の」

「imaginative 想像の、想像的な、想像力に富む」

見れば分かる通り、
先頭に載ってる言葉が同じである。

もし、これをそのまま覚えたら、
脳みそがこれらを見分けられないのも無理はない。

「想像の」で覚えていたら、
「imaginary」も「imaginative」も、
脳みその同じところに記憶されるだろう。

これら2つの英単語をしっかりと覚えたいなら、
脳みその違う場所に記憶すべきだ。

記憶術とは情報整理術でもある。

ということで、ここでポイントなのが、
後ろの日本語訳から自分が覚えやすい日本語訳を選ぶ、
ということだ。

その方が、単語帳の紛らわしい訳で覚えるよりも、
遥かに楽に覚えられるだろう。

選ぶ際のポイントは、
自分が違いを理解できるかどうかである。

そして、これも重要だが、
覚えるべき日本語訳は1つに絞るべきだ。

英単語の意味を覚えるときは、
1つの単語につき1つの意味だけを覚える、
というのを守った方がいい。

それはなぜか?というと、
大抵の単語は1つの意味さえ明確に覚えられれば、
あとの意味も芋づる式に思い出せるからだ。

だからこの場合も、

「imaginary 想像の、架空の」

「imaginative 想像の、想像的な、想像力に富む」

と、すべてを覚えようとするのはナンセンス。

「imaginary 架空の」

「imaginative 想像力に富む」

と、決め打ちで覚えてしまった方が早い。

これが、紛らわしい英単語が出てきたとき、
なかなか覚えられない英単語が出てきたときの有効な対処法である。

ここで、もう1つ別のアプローチ法を紹介しておこう。

それはどんな方法か？というと、
「日本語能力を高める」という対処法だ。

先ほどの例で言うと、
「架空の」と「想像の」に定義の違いを、
しっかりと理解し、覚えていく対処法である。

具体的にどうやって勉強するのか？というと、
特にこれといって特別なことをやるわけではない。

普通に辞書で調べるだけだ。

ちなみに、それぞれ辞書で調べてみると、

【架空】

根拠のないこと。

また、事実に基づかず、想像によってつくりあげること。

また、そのさま。

【想像】

実際には経験していない事柄などを推し量ること。

また、現実には存在しない事柄を心の中に思い描くこと。

と書かれている。

こちらのアプローチから英単語を覚えていくと、
言葉の定義に敏感になっていくので、
現代文の成績も良くなっていく。

また、日本語と英語という言語の違いにアンテナが立つため、英語学習がより密度の濃いものになっていくだろう。

ただ、1つ欠点がある。

それは何か?というと、
こちらの勉強法は、時間効率が圧倒的に悪い。

死ぬほど効率が悪い。

覚えられない英単語が出てくるたびに、
この対処法で勉強していたら、
恐らく時間がいくらあっても足りないだろう。

なので、この対処法は、
本当にわからない単語が出てきたときだけ、

ようするに、
「こいつはもうお手上げだ」ってときにだけ、

この対処法で勉強することをオススメする。

ダメ押しでにもう1つ、先ほどの、
日本語訳を変えて覚える方法の具体例を出しておこう。

「sensible」と「sensitive」

これらも私を非常に悩ませた英単語だ。

特に問題なのが、
「sensible」である。

私が覚えた英単語帳には、

「sensible 分別のある」

「sensitive 敏感な」

と書かれていた。

試験でこれらの単語が出てきたとき、
私の脳みそはいつもこんな感じだった。

sensitiveは確か「敏感な」って意味だ。
これはわかる。

でもsensibleが思い出せん。

これ何て意味だっけ。
、、、あー思い出せねえ。

だいたいこんな感じ。

なんでこんなことになったのか?というと、
ここでも日本語訳が問題としてあげられる。

というのも、
私が「sensible」を覚えられなかった原因は、
「分別のある」という日本語訳にあったわけだ。

少しお聞きしたいのだが、ここ最近の日常会話の中で、
「分別のある」という言葉を使ったことが、
一度でもあるだろうか？

恐らく、ほとんどの人は、日常会話の中で、
「彼は分別のある人ね。素敵だわ」なんて使った経験はないだろう

そう、私が「sensible」の意味を覚えられなかった原因は、
「分別のある」という日本語訳で覚えようとしたことにある。

そもそも、日本語で使わない言葉を、
英単語の意味として覚えようとしているからこそ、
なかなか記憶できないわけだ。

記憶力がない!と嘆いている人は、
本当に記憶力がないわけではない。

強いて言うなら、
良い日本語訳を選ぶ発想が足りないだけだ。

中学生が「often」の意味を、
なかなか覚えられないのも同じである。

よく、単語帳には、
「often しばしば」なんて書かれてるけど、

どこの中学生が日常会話で「しばしば」何て使うんだ？

「俺、しばしば野球やるんだよね。」

なんて聞いたことがない。

実際、私は「often」をどのように覚えているのか？というと、
私は「often」を「60%」と覚えている。

それはなぜか？というと、
「often」が頻度の副詞だなんてことは、
一瞬で脳みそに浮かんでくるからだ。

となると、
大事なはその頻度のイメージである。

私はその頻度の度合いを、
数字の%表示で覚えてるっただけだ。

ちなみに、他の頻度の副詞は、

occasionally 30%

sometimes 50%

usually 80%

always 100%

だいたいこんな感じで覚えればいーだろう。

頻度の副詞の覚え方で悩んでいる人は、
ぜひ参考にしていただきたい。

話を戻そう。

「sensible」という単語の意味を、
どうやって覚えればいいのか？

やることはさっきと同じである。
英和辞典で「sensible」の意味を調べてみればいー。

すると、
「sensible 分別のある、思慮のある、賢明な」
と書いてある。

私の感覚的には、
「分別のある」も「思慮のある」もしっくりこないの、
この場合だと「賢明な」という日本語訳を選ぶだろう。

あとは、スペルが似た単語である「sensitive」もまとめて、「sensible 賢明な」「sensitive 敏感な」をセットで覚えていく。

これが、紛らわしい英単語の覚え方だ。

まとめると、良い日本語訳を選べば、
英単語の意味もスムーズに覚えられる。

逆に悪い日本語訳を選んでいると、
英単語の意味がなかなか覚えられないということだ。

英単語の意味が覚えられなくて苦労してる人は、
ぜひ、日本語訳を今一度見直してみてください。

以上、

Google画像検索勉強法、語源勉強法、日本語訳変換勉強法、

この3つが、私が実践して超役に立った、
何度勉強しても全然覚えられない英単語を
効率的に覚えるための勉強法である。

超高速英単語勉強法で英単語を暗記し、
どうしても覚えられない英単語が出てきたときは、
ぜひこれらの勉強法を試していただきたい。

第4章 まとめ

ここまで話してきた英単語勉強法を、
最後にまとめて確認しておこう。

まず初めに英単語を覚えるためにやるべき勉強法は、
「超高速英単語勉強法」である。

私が実践した具体例を元に話すと、

目標は、
大学受験に必要な基本レベルの英単語を覚えること。

期限は3日。

覚える語数は2000語。

覚えるのは英語→日本語訳、1つの単語、1つの意味のみ。

使うのは英単語アプリ。

終了ラインは4択問題2000問連続正解。

実際に勉強するとき意識すべきことは3つ。

1にスピード、2にスピード、3にスピードだ。

これが、私が実践した、
「超高速英単語勉強法」の簡単なまとめである。

これにプラスして、
4択問題2000問連続正解を7回できたらクリア、
という条件を加えれば、ベストだ。

なかなか英単語を覚えられない人は、
まずはこの勉強法を完璧に真似してくれて構わない。

「学ぶこと」は「真似ること」から始まる。

今までなかなか英単語を覚えられなかった人は、
ぜひともこの勉強法を100%模倣して、
基本レベルの英単語を覚えてみよう。

そして、その後に話したのが、私が実践して超役に立った、
何度勉強しても全然覚えられない英単語を、
効率的に覚えるための勉強法3つである。

具体的に述べると、
Google画像検索勉強法、語源勉強法、日本語訳変換勉強法、
この3つだ。

「超高速英単語勉強法」で、
どうしても覚えられない英単語が出てきたときは、
これらの勉強法を手当たり次第に、試してみよう。

最終的にどんな勉強法が効果的かは、
やはり個人差がある。

どの勉強法にも良いところ、悪いところ、
自分に合う合わないがあるだろう。

あとは、どの勉強法が自分に合っているか、
自分で実践し、自分で考え、自分で改善していくしかない。

そう、最終的に勉強するのは、
他でもないあなた自身だ。

このあとどうするかは、
自分が判断し、自分が決め、自分が行動しなくてはならない。

このレポート内で何度も何度も話していることだが、
他の人に答えを求めるのは思考停止状態の人がやることだ。

大事なものは、他に「依存」することではなく、
自主的に考え、自立心を持ち、自律的に行動することである。

志望校に合格するために、
今の自分は何をすべきなのか？

これだけを考え、行動していれば、
志望校合格への道は確かなものになっていくだろう。

このレポートを読んでいる受験生には、
ぜひとも良い結果を残してもらいたい。

第5章

あとがき

今回、このレポートでは、
英単語の勉強法をテーマに話をさせていただきました。

いかがだったでしょうか？

ここまで読んでみて、受験勉強をする上で何か参考となるような、
新しい知識や考え方を得ることができたでしょうか？

読者であるあなた自身が、
このレポートから何かしら学んで頂けたのであれば、
これを書いた著者として、とても嬉しく思う。

実際、このレポートを読むことで、
大学受験で必須の様々な勉強法や思考法に関する知識などが、
たくさん身についたことだろう。

特に、今回は私の脳内の思考プロセスを丁寧に描写したので、
読むだけでだいぶ思考力が鍛えられたはずだ。

このレポートは何度読んでも学びがあるように、
随所に普遍的な学びとなる項目を散りばめているので、
ぜひ何度も何度も読み直していただきたい。

受験勉強と同じで、
ここに書いてあることを100%自分の中に取り込むためには、
何度も何度も読むことが必須である。

英単語の勉強を始める前に、
超高速英単語勉強法のところを丁寧に読み直し、
ある程度英単語を覚えてきたら、
今度は、後半の3つの勉強法を学び直すと良いだろう。

このレポートは思考停止状態に陥った時に、
指針としての役割を果たしてくれるようにもなっているので、
受験勉強で何か迷うことがあったら読むように習慣づけしても良い。

紙に印刷して自分にとって大事なところをマーカーで引くなり、
スマホで見れるようにして持ち歩くなりして、
このレポートを使い倒していただければ本望である。

ただ、1つ忠告しておく、このレポートを読んで、
「あー、わかりやすかった」で終わってしまっただけでは何の意味もない。

私はこのレポートをただ楽しんでもらうために書いたのではなく、
自分の受験勉強に活かしてもらうために書いたつもりだ。

だから、このレポートを読んだ方には、
ぜひ、このレポートで学んだことを、
自分の大学受験に活かしていただきたい。

といっても、これを読んでいる人の中には、
読んだ後すぐに何をやればいいのかわからない人もいるだろう。

そんな人のために、

「これさえやればこのレポートで学んだことを、
自分の大学受験に100%活かすことができるぜ！」
ってことを教えておく。

それは何か？というと、このレポートで学んだことを、
真っ先に仲の良い友達に教えることである。

なぜ、仲の良い友達に真っ先に教えるべきなのか？

それを説明するためにも、
ここでラーニングピラミッドを紹介しよう。

ラーニングピラミッドとは、
勉強法と脳への記憶の定着率の関係を表したものだ。

詳しくは自分で検索していただくとして、
その内容を端的に書くとこんな感じだ。

勉強法 → 脳への記憶の定着率
聞くだけ → 5% Lecture
読むだけ → 10% Reading
見るだけ → 20% Audiovisual
実演してもらおう → 30% Demonstration
議論する → 50% Discussion Group
練習する → 75% Practice Doing
教える → 90% Teaching Others

これが勉強法と脳への記憶の定着率の関係だ。

ご覧いただければわかる通り、
脳への記憶の定着率は、人に教えるときに、
90%と、一番高い定着率を示している。

逆にこれを読むだけで終わらせてしまう人は、
これを読んだ記憶がたったの10%しか脳に定着しない。

学校や予備校で行われている授業スタイルでさえ、
脳への定着率はせいぜい20%程度、良くて50%程度だ。

にもかかわらず、
教えることによる脳への記憶の定着率は90%を誇る。

つまり、教えることが最強の勉強法なのだ。
私の経験からもこれは間違いないと言える。

私は現在、YouTubeやTwitter、ブログなどを使って、
色んな人に様々なことを教えまくっている。

大学受験に限った話でいうと、
勉強法や思考法はもちろん、記憶法、食事法、健康法など、
他にも、視聴者や読者の方から質問に答えるなどもして、
ありとあらゆることを人に教えているわけだ。

なぜ、これをやっているのか？というと、
他の人のためにもなるというのもあるが、それ以前に、
自分にとって、これが一番の学びになるからだ。

人に教えたことを、
人は一番記憶にとどめておくことができる。

だからこそ私は様々な媒体を使って人に教えているし、
これを読んでいる人にもすぐに、
人に教える側の人間になって欲しいと思っている。

いつまでも教えられる側の人間していると勉強効率は一生低いまま。
だからあなたは、今すぐにでも教える側の人間になるべきなんだ。

そして、これも重要だが、
教える側の人間になるためには、
頭の良さも、資格も、才能も必要ない。

今の自分が教えられることを、
ただ、他の誰かに教えればいいのだ。

最初から教えるのが上手い人なんて、
この地球上にどこにもいない。

昔の私だって、本当に教えるのが下手だった。
そして、それに対して恥ずかしいと思う気持ちも当然あった。

でも、それ以上に、
教えることは、私たちに想像以上の学びをもたらしてくれる。

これは、人に教えた経験がある人ならば、
誰しものが実感したことがあるだろう。

一度でも人に教える経験を持つと、
その後の人生は一変する。

そして、私が人に教える経験から一番に学んだことは、
実は教え方でも、わかりやすい説明の仕方でもない。

教わり方だ。

私は教えることを通して、教わることを学んだのだ。

そして、私は教わり方を学ぶことで、
何をしても勉強できるようになった。

人の話を聞いている時、本を読んでいる時はもちろん、
街中を歩いている時、スポーツをしている時、風邪をひいた時、
風呂に入っている時、ご飯を食べている時などなど。

つまりは日常生活のありとあらゆる場面で、
様々なことを学べるようになった。

日常生活からの教わり方がわかったのだ。

この状態になったら、
受験勉強など余裕で終わる。

だから、教えるべきなんだ。

特に、これを読んでいる受験生の今の目標は、
志望校に合格することのはずだ。

それなら、志望校に合格するためにできることは、
可能な限りなんだってやるべきだろう。

その中でも、教えることは、
タダで今すぐできて、なおかつ効果も抜群に高いという、
とんでもないくらい素晴らしいことだ。

ここで教えないという選択肢を選ぶ人は、
受験生ではない人か、日本語が通用しない人だけだろう。

もちろん、ここでいう受験生とは、
大学進学を考えている高校1年生、2年生の人も該当する。

いいだろうか？

教える側の人間になると、学びの質は跳ね上がる

だからこそ、人に教えるべきなんだ。

そして、これを読んでいる受験生は、
このレポートで学んだ内容を仲の良い友達に教えるのが、
今真っ先にやるべきことだろう。

教える相手は、べつに親でも兄弟でも構わないが、
今回学んだ内容を一番真剣に聞いてくれて、なおかつ活かせるのは、
自分と同じように受験勉強をしている友達のはずだ。

だから、友達に教えるといい。

教える側の人間になるだけで、
学びの質は本当に変わってくる。

そして、一番のオススメは、
受験勉強をしている友達と、お互いに教え合うことだ。

今の時代は、LINEやSkypeなど、
友達と教えあえるための便利なツールが、いくらでも存在している。

それを使わない手はない。

そして、ここで、明言しておくが、
このレポートは友達に渡してくれて構わない。

最初の方に著作権がどうのこうのと書いているが、
無断で複製されたり転載されるのが嫌だったから書いただけだ。

このレポートをそのまま回す分には、
いくらやってくれても構わない。

私がこのレポートの作成者で、私が許可しているのだから、
いくらでも友達に回して良い。

友達と教え合う場合も、このレポートを先に読んでもらって、
互いに共通認識を持つてからのの方が誘いやすいだろう。

LINEか何かで、このレポートを友達に渡して読んでもらってから、
「一緒に英単語の勉強するグループ作ろうぜ！」と言えばいい。

あとはグループを作って、
お互いに勉強した内容を教え合うのがベストだ。

Googleの画像検索の結果を載せたり、
自分で調べた語源をボイスメッセージで教えてみたり、
良い日本語訳を見つけたら書いてみたり。

いくらでもできることはある。

実際に私が指導している受験生には、
これをやらせているが、かなり評判が良い。

他のみんなと協力してる感があって楽しく勉強できるし、
そして何よりやる気が出てくるとのことだ。

そして、これを念頭に勉強すると、
教えること前提に勉強することになるので、
知識の定着率も実際にかなり跳ね上がっている。

暗記が苦手と言っていた受験生も、
この勉強法を通して暗記が苦でなくなったと言っていた。

私が受験生の時にこれをやっていたら、
私の大学受験の結果も、今とは違ったものになっていただろう。

ここで1つアドバイスをしておくと、もしグループを作ったら、
お互いに目標を宣言すると良い。

このレポートで学んだことを活かして、

私の目標

大学受験に必要な基本レベルの英単語を覚えること。

期限は7日。

覚える語数は1700語。

覚えるのは英語→日本語訳、1つの単語、1つの意味のみ。

使うのは英単語アプリ。

終了ラインは4択問題1700問連続正解を7回達成した時。

こんな感じで、宣言するのだ。

なぜ、宣言するのが良いのか？というと、
人は、他人に見られてる感があると、
それを達成するために一生懸命行動することができるからだ。

これを聞いて、嫌だなーとか、恥ずかしいなーと、
そう思った人ほど抜群に効果を発揮する。

べつに宣言するのは、こういった大きな目標ではなく、
1日1日でこなすような小さな目標でも構わない。

今日は英単語アプリを3周します。
今日は数学の問題集を100ページやります。
今日は漢字を20ページ書きまくって覚えます。

などと、宣言するのもいい。
宣言することで、退路を断つのだ。

やるしかない状況に自分を追い込めれば、成績なんて一瞬で上がる。

グループを作ったら、
ぜひこれを試してみていただきたい。

他にいくらでもこういった勉強法はあるが、
今日の本題から逸れるので、これくらいにしておこう。

グループや人間の心理を利用した勉強法に関しては、
またべつのレポートで詳しく話す。

もうそろそろ終わりだが、ここでもう一度、
私が伝えたかったことを述べておこう。

本編でも何度も強調したが、
大学受験で重要なのは勉強法や思考法といった、
目に見えない思考の部分だ。

今、勉強しても成績が上がらないのは、
頭が悪いからでも、記憶力がないからでも、
才能がないからでもない。

勉強法が間違っているから、
いくら勉強してもなかなか成績が上がらないだけだ。

そこで感情的になって、
自分を否定しても、何の意味もない。

勉強法を知り、それを素直に実践して、
自分の受験勉強を効率化していくこと。

これが志望校合格への一番の近道。

このレポートを読んでいる受験生には、
ぜひとも勉強法とは何かを学んでいただき、
良い結果を出していただきたいと心から思っている。

最後に、私が現在情報発信をしている、
様々なメディア媒体を紹介させていただこう。

興味があれば、こちらもぜひご覧いただきたい。

まず紹介するのが、
こちらの大学受験無料メール講座だ。

「大学受験無料メール講座」

<http://wakki001.com/nature/cf/jees7b>

このメルマガでは、
大学受験で必須の基本的な勉強法、思考法など、
受験生が知っておくべき最低限の情報を全て発信している。

これから紹介をするメディアの中でも、
一番のメインとなっているのがこのメルマガだ。

YouTubeやブログを更新したときの更新情報も、
基本的にはこのメルマガにて告知するようにしている。

勉強法や思考法についてもっと学びたい受験生は、
これを読むといいだろう。

私が次に作る最新のレポートもここで紹介するので、
次のレポートも読みたい！という人には、
ぜひとも読んでいただきたい。

そして、次に紹介するのが、
大学受験で使える動画の再生リストまとめだ。

YouTube

「大学受験通信講座Nature一般公開動画まとめ」

<http://wakki001.com/nature/cf/5lxv>

ぶっちゃけ、ここに載せられている動画を見るだけでも、
異次元なくらい成長できるだろう。

過去には、ここで公開している動画を見ただけで、
慶應に受かってしまった受験生もいる。

さらに今回は特別に、
いくつか限定公開の動画も入れておいた。

ここに載ってる動画を全部見るだけで、
ありえないレベルで成長できてしまうので、
ぜひとも参考にさせていただきたい。

ただ、この再生リスト自体は、
期間限定で公開しようと思っているので、
見れるうちに早めにご覧いただければなと思う。

そして次に紹介するのが、
LINEアカウントだ。

LINEアカウント「慶應三銃士」

<http://wakki001.com/nature/cf/kp>

このLINEアカウントでは、基本的にメルマガと同じように、
大学受験に関する情報を不定期で発信している。

メルマガとの違い何か？というと、
ゲリラ的な受験相談などの案内があることだ。

以前、名古屋で別件の急用が入ったときに、
受験相談を開催したら参加する人はいるかどうか、
このLINEアカウントで案内をさせていただいた。

そのときは、医学部志望と慶應志望の2名の受験生が、
急にもかかわらずその受験相談会に参加してくださり、
そこで色々と大学受験に関する悩みを聞いたりした。

今後も、東京や大阪に限らず、地方に行ったときなど、
要望があれば受験相談会を開こうと考えているので、
興味がある人はぜひとも登録してほしい。

また、受験相談会に参加したい人は、
「受験相談会があったら参加したいです！」といった風に、
メッセージをしていただければ今後の参考にする。

なお、上記のURLで追加でいない人は、
その他→友だち追加→ID検索→@SBW0518X
と検索してくれれば友だち追加できるはずだ。

最後のIDは「@」から入れることをお忘れなく。

そして、
次に紹介するのがTwitterアカウントだ。

Twitterアカウント

<http://wakki001.com/nature/cf/hhdcni9>

こちらのアカウントでは、
大学受験に関するツイートを定期的に流したり、
YouTubeにアップした受験に関する動画を紹介したりしている。

大学受験に関する定期ツイートは、
今現在200個近くパターンがあつて、現在も更新中。

だが、基本的なスタンスとしては、
かなりゆるく運営しているので、
気軽にフォローしてくれて構わない。

受験生向けのアカウントなので、
リプライやDMによる受験相談も可能だ。

率直に言うと、
単純にフォローしてくれると嬉しい。

そして、
最後に紹介するメディアがブログだ。

「大学受験Nature公式ブログ」

<http://wakki001.com/nature/cf/065>

こちらのブログでは、
私が昔に書いた記事や、メルマガの過去ログ、
ブログ限定の記事なども載せている。

基本的な内容としては、
勉強法とか、思考法、記憶法に関して。

今回のレポートで書いたのとは、
また別のエピソードの話をしたりもしている。

こちらのブログ、全記事読む人も結構いるようで、
それくらい情報に対して貪欲だったら、
きっと大学受験もうまくいくだらう。

ここで紹介してることを、
ぜひ各自の大学受験に活かしていただければな、と思う。

以上が、
私が現在情報発信をしているメディアまとめだ。

最後にリンクだけまとめて置いておこう。

「大学受験無料メール講座」

<http://wakki001.com/nature/cf/jees7b>

YouTube

「大学受験通信講座Nature一般公開動画まとめ」

<http://wakki001.com/nature/cf/5lxv>

LINEアカウント「慶應三銃士」

<http://wakki001.com/nature/cf/kp>

Twitterアカウント

<http://wakki001.com/nature/cf/hhdcni9>

「大学受験Nature公式ブログ」

<http://wakki001.com/nature/cf/065>

ということで、
いかかだったでしょうか？

かなり中身の濃いレポートだったので、
何度も何度も読み直すことをお勧めする。

そして、あとがきの中でも話したが、
これを読み終わったらすぐに友達に教えることも忘れないように。

それをするかしないかで、
記憶の定着率も変わってくるからね。

最後にもう一度言うておこう。

**大学受験で重要なのは勉強法や思考法といった、
目に見えない思考の部分だ。**

今、勉強しても成績が上がらないのは、
頭が悪いからでも、記憶力がないからでも、
才能がないからでもない。

勉強法が間違っているから、
いくら勉強してもなかなか成績が上がらないだけだ。

そこで感情的になって、
自分を否定しても、何の意味もない。

勉強法を知り、それを素直に実践して、
自分の受験勉強を効率化していくこと。

これが志望校合格への一番の近道。

このレポートを読んでいる受験生には、
ぜひとも勉強法とは何かを学んでいただき、
良い結果を出していただきたいと心から思っている。

志望校に合格するためにも、
受験勉強頑張ってください。

ではでは！

PS

このレポートの感想をお待ちしている。

感想を書く際のテーマは以下の3つだ。

1. 今回このレポートを読んで、率直にどう思ったのか？
2. 実際にこのレポートに載っている勉強法を試してみて、どのような結果になったのか？
3. もっと詳しく聞いてみたい内容は何か？

これら3つをテーマに、
感想を書いて送っていただければと思う。

なぜ、感想を書いていただきたいか？というと、
感想を書いた方が学んだことが記憶に残りやすいからだ。

言い方を変えると、このレポートの感想を私に教えることで、
学んだことがより脳内に記憶として定着しやすい。

なので、
ぜひ気軽に感想を送っていただければと思う。

また、私自身が、このレポートの感想を元に、
新しいレポートやコンテンツを作ろうと思っているので、
それらを読みたい人がいたら、
ぜひこちらのメールアドレスに感想を送ってほしい。

逆にいうと、全く感想がこなければ、
新しいレポートやコンテンツは作らないだろう。

人が求めているものを作っても、ただの時間の無駄になるからね。

なので、もし、
新しいレポートやコンテンツを見たい人がいたら、
ぜひ感想を送っていただければと思う。

感想を送る際は、以下のメールアドレスに、
件名「英単語勉強法レポートを読んで」と書いて送ってくれ。

メールアドレス

ko3jushi@wakki001.com

また、感想を送る際は、
これら3つのテーマを全て書いてからでなく、
バラバラに送っていただいても構わない。

1回目に読み終わってから、

1. 今回このレポートを読んで、率直にどう思ったのか？
というテーマで感想を送る。

そして、実際に勉強してみてから、

2. 実際にここに載っている勉強法を試してみて、
どのような結果になったのか？
3. もっと詳しく聞いてみたい内容は何か？

これら2つのテーマについて感想を送っていい。

もちろん、テーマ3だけとか、テーマ1だけなど、
テーマを選んで自由に書いてくれて構わない。

というか、テーマを完全無視して、
自由に感想を書いていただいても結構だ。

テーマはあくまでも感想を書くためのヒントにすぎない。

感想を書いたら、どんな形でもいいので、
ぜひ送信していただければと思う。

また、テーマ以外のことに関してのお問い合わせも、
こちらのメールアドレスからして頂いて結構だ。

例えば、
受験生の保護者の方や、塾講師、家庭教師の方、
中学受験や高校受験を控えるお子様がいる保護者の方などで、
何か質問や相談がある場合は、
その旨を記載していただければこちらで対応させて頂く。

もちろん、高1生、高2生や受験生、浪人生の方で、
質問や相談ある場合も、自由にメールをしてくれて構わない。

簡単な話が、どんな人、どんな要望でも良いので、
何か連絡を取りたいければこちらからどうぞってことだ。

可能な限りの対応はするので、気軽に連絡して頂きたい。

そして最後に、質問をする際の礼儀として大切なことを述べておく。

それは何か？というところ、感想、質問、相談などに限らず、何かメッセージを送る際は、初めに必ず自己紹介をすることだ。

これは当たり前のことであるはずだが、私の元に来る質問やお問い合わせの多くに自己紹介がないので、あえてここで書かせていただく。

物凄く普通のことを言うが、18歳かそこらになって、人に頼み事をするのに、自己紹介すらできない人は、ハッキリ言って論外だ。

「英語の勉強方法を教えて欲しい」

以前、このように一言だけ書かれたメールが届いた。

少し考えれば、いきなり見知らぬ人からこんなメールが来たら、受け取る側がどんな気持ちになるかは想像出来るだろう。

ハッキリ言って、気持ち良いものではない。

おそらく、この質問をしてきた受験生は、それすらも考えられないほどの思考停止状態だったのだろう。

だが、人に何かをお願いする際に、しっかりと自己紹介をするのはそもそも人として当たり前のことだ。

このメッセージを送った本人に悪気はないかもしれないが、
そのクセは絶対に直した方が本人のためにもなる。

それはなぜか？というと、
こういった質問の仕方に気を使うだけで、
相手からの反応もかなり変わってくるからだ。

自己紹介をしていない、なんていうつまらない理由で、
相手から有益な情報を受け取れないなんてのは、
めちやくちやもったいないからね。

これを機に、人として当たり前レベルのことは、
当たり前のように心がけていこう。

受験勉強関係で何かを聞くために、自己紹介をするのであれば、

名前、学年、文系・理系、志望校、志望理由、
塾・予備校に通っているか、現状の成績、併願校など、

ここらへんは書いた方がいいだろう。
他に何を書いた方がいいのかは、自分の頭で考えてくれ。

そして、ここであらかじめ断っておくが、
お問い合わせの数が増えてきた場合は、
自己紹介やお問い合わせ内容などを丁寧に行っている人から、
優先して、順番に返信していく。

なので、早く返事が欲しい人は、
できるだけ丁寧に自己紹介や質問内容を書いて欲しい。

もちろん、送って頂いたメッセージ自体は、
どんなメッセージでも1通1通丁寧に読むので、ご安心ください。

ってことで、
なんだかんだで、PSなのにちょっと長くなってしまった。

質問の仕方については、もっと伝えたいことがあるんだけど、
本題とは関係ないので、これくらいにしておこう。

もし、もっと聞きたいことがあれば、気軽に連絡してください。

連絡する際のメールアドレスはこちら。

ko3jushi@wakki001.com

件名は「英単語勉強法レポートを読んで」

そしてもちろん、自己紹介は欠かさずに。

ということで、拙い文章でしたが、
ここまで読んでいただき、本当にありがとうございました。

またどこかで会いましょう。

ではでは。